

令和8年度京都市市民生活実感調査業務委託仕様書

京都市総合企画局市長公室政策企画調整担当
(担当：阿智北、堀川 電話：075-222-3034)

1 調査目的

京都市基本計画に基づき取組を進めている様々な分野において、市民が政策・施策の効果をもどのように実感しているのかや重視する政策分野について調査、分析を行い、その結果を市の政策評価や今後の取組方向の検討に活用することを目的とする。

2 業務委託内容

(1) 調査の実施

以下のとおり、調査を実施する（調査の手順は、別紙1を参照）。

ア 調査対象

20歳以上の京都市民

イ 回答数

2,000人（調査A：1,000人、調査B：1,000人）

※ 調査A、調査Bについては、別紙3-3及び3-4のとおり。

ウ 調査手法

インターネットモニター調査

（スクリーニング調査を実施後、本調査を実施すること。）

エ 回答構成

- 調査A（1,000人）・調査B（1,000人）それぞれの回答数に占める年代及び性別の構成割合を、令和8（2026）年4月1日現在の「京都市住民基本台帳人口」における行政区ごとの構成割合（以下、「人口構成割合」という）に合わせることを。

ただし、人口構成割合に合わせた結果、必要な回答数に達しない場合は、本市に報告のうえ、指示を受けること。

- 年代については、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」、「70歳代以上」の6区分とすること。
- なお、京都市住民基本台帳人口については、「京都市統計ポータル」のホームページ（※）内の「1 元学区別／町別の人口（年齢別）」を参照すること。

※ <https://www2.city.kyoto.lg.jp/sogo/toukei/Population/Juki/>

- また、例えば100歳以上のモニターサンプルがない場合であっても、割合は100歳以上の人口も含めて行うこと。

オ スクリーニング調査について（別紙2参照）

- 調査名は、「あなた自身に関するアンケート」とすること。
- 調査の冒頭に、「このアンケートは、住民基本台帳人口の構成比に合わせてアンケートの回答を回収するため、戸籍上の性別・年齢・居住地域についてお聞きします。」との調査趣旨を記載すること。

- ・ 設問及び選択肢は別紙2のとおり。
- カ 本調査について（別紙3参照）
 - ・ 調査名は、「生活実感のアンケート調査(令和8年度京都市市民生活実感調査)」とすること。
 - ・ 調査の冒頭に、調査の趣旨（別紙3-1参照）を記載すること。
 - ・ 調査項目は以下のとおり。
 - (ア) 市政関心度・幸福実感・定住意向【調査A・B共通】（別紙3-2参照）
 - (イ) 生活実感【調査A】（別紙3-3参照）、【調査B】（別紙3-4参照）
 - (ウ) 政策重要度【調査A・B共通】（別紙3-5参照）
 - (エ) 自由記述（別紙3-6参照）
 - (オ) 属性（別紙3-7参照）
 - ※ (イ)については、調査A、調査Bでそれぞれ質問が異なる。
 - ※ 各調査項目について、回答者が選択肢から1つのみ選択できるように設定すること（複数選択はできないようにすること）。

<留意点>

- ・ 設問の並び順は、上記の順番とすること。
- ・ 無回答も集計すること。
 - ※ 回答者がある質問項目について無回答の場合であっても、「無回答の項目があるがそのまま送信してよいか」等のメッセージを表示した上で、次の質問に進めるようにすること。
- ・ 不正モニターの排除を適切に行うこと。なお、「不正モニター」とは、以下のとおりとする。
 - a すべての設問を無回答にしている。
 - b すべての設問で同一のアルファベットを選択している。

<回答者への情報提供について>

調査の最後に、以下のページを回答者に示すこと（別紙4のとおり）

- ・ 「市民生活実感調査」ホームページ
- ・ 「政策評価制度」ホームページ
- ・ 「市民意見申出制度」ホームページ

(2) 調査結果の集計及び図表化・資料作成

(1)の調査結果について、以下のデータを作成すること。

ア ローデータ

イ 質問項目ごとの単純集計表

ウ (1)カ(イ)の調査結果にかかる資料（別紙5と同様の資料）

なお、「評価結果」のうち、「点数」及び「市民生活実感評価」は、以下のとおり計算すること。

○「点数」の計算方法について

各回答について、「そう思う」に2点、「ややそう思う」に1点、「どちらとも言えない」に0点、「あまりそう思わない」に-1点、「そう思わない」に-2点をそれぞれ乗じ、それらの合計を有効回答数（総回答数-無回答数）で除する。

(例)

そう 思う	ややそ う思う	どちら とも言 えない	あまり そう思 わない	そう思 わない	無回答	総回答	有効 回答
37	93	81	28	20	23	282	259

$$\frac{37 \times 2 + 93 \times 1 + 81 \times 0 + 28 \times (-1) + 20 \times (-2)}{259} = 0.382$$

○「市民生活実感評価」の評価方法について

上記で算出した「点数」にもとづき、以下のとおり a~e の評価を記入すること。

- 0.8以上・・・a (0.8 ≤ a)
- 0.3を超え0.8未満・・・b (0.3 < b < 0.8)
- 0.3以上0.3以下・・・c (-0.3 ≤ c ≤ 0.3)
- 0.8を超え-0.3未満・・・d (-0.8 < d < -0.3)
- 0.8以下・・・e (e ≤ -0.8)

エ 別紙6～別紙12と同様の資料

- ・ 別紙8「政策の重要度」の1ページ目について、「人数」は、当該政策について「重要」及び「やや重要」を選択した人数の合計数を記載すること。また、「%」は、当該政策について「重要」及び「やや重要」を選択した人数の合計数を、当該政策に関する有効回答数で除した数字を記載すること。その結果算出された数字について、小数点以下第4位を四捨五入した数字を記載すること。
- ・ 「政策重要度と市民生活実感のマトリックス」(別紙12)については、2頁目のマトリックス図のみ作成すること(1頁目の文章については作成不要)。
- ・ 別紙6～別紙11については、エクセルファイルで作成すること(ただし、文字のフォントやグラフの色等のデザインは不問とする)。

オ 行政区ごとの資料

- ・ 別紙8(政策の重要度)の1ページ目
- ・ 別紙9(市政関心度)
- ・ 別紙10(幸福実感)
- ・ 別紙9・10と同様の資料(定住意向)

カ 年代ごとの資料

- ・ 別紙8(政策の重要度)の1ページ目
- ・ 別紙9(市政関心度)

- ・ 別紙10（幸福実感）
- ・ 別紙9・10と同様の資料（定住意向）
- キ 調査画面（アンケート回答画面）
- ク 自由記述
 - ・ 一覧表（別紙11を参考に作成すること。様式自由）
- ケ 属性設問
 - ・ ローデータ
 - ・ 質問項目ごとの単純集計表

3 成果品

4に記載の納入期限までに、2(2)の電子データ一式を提出すること。

4 契約期間

契約の日の翌日から令和8年7月3日（金）まで

<今後のスケジュール>

5月上旬 委託業者選定、委託業者との調整

5月中旬 調査実施

6月18日（木） 検収及び納入①（2(2)オ、カに掲げる資料を除く資料一式）

6月30日（火） 検収及び納入②（2(2)オ、カに掲げる資料一式）

7月3日（金） 実績報告書提出

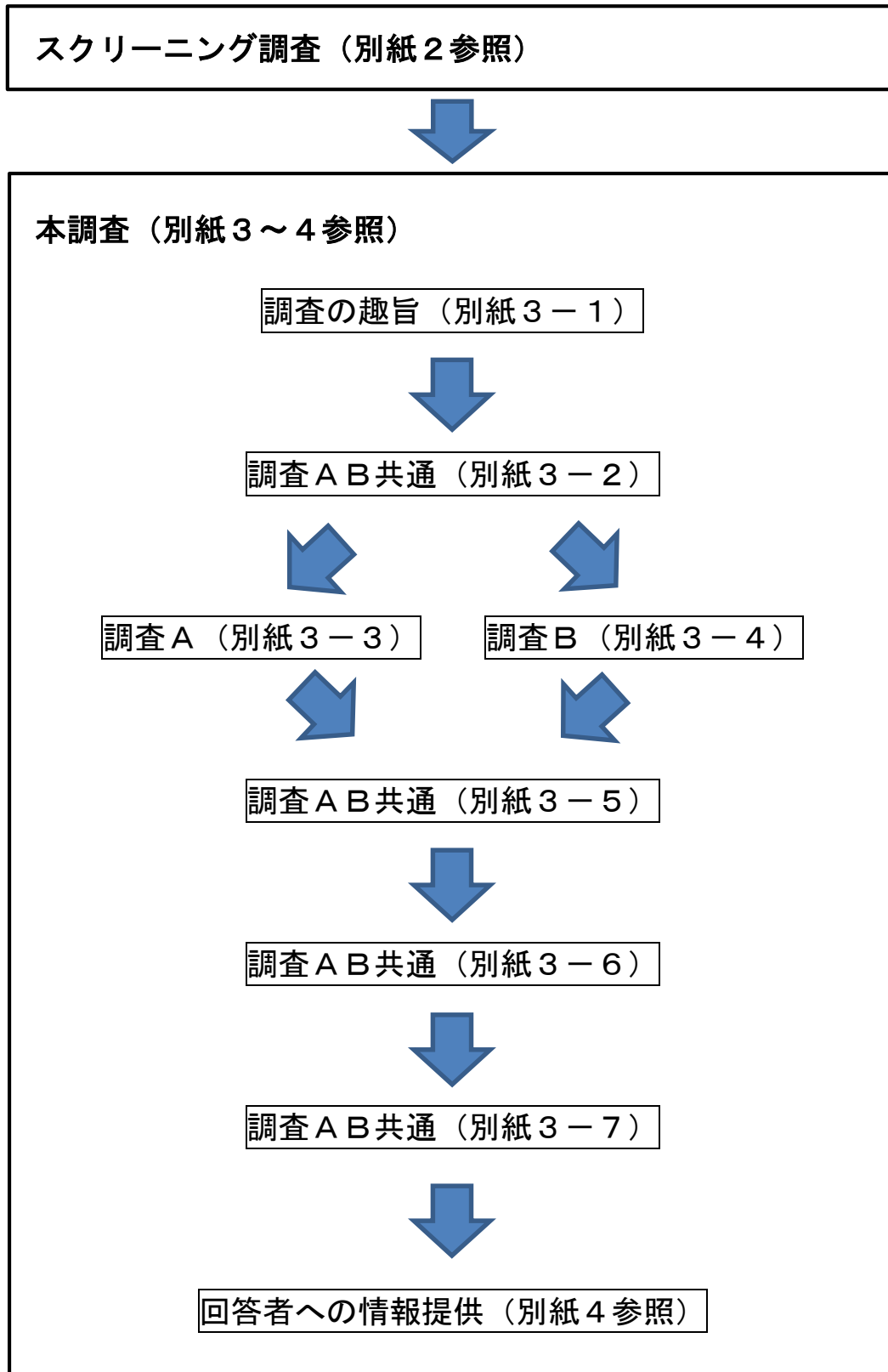
5 留意事項

- (1) 業務の実施にあたっては、本市担当職員と十分に協議すること。
- (2) 本仕様書に定めのない事項又は本仕様書の内容に関し疑義が生じたときは、両者協議のうえ、これを定め、協議が整わない場合は本市が定めるものとする。
- (3) 本業務の実施により得られた成果は京都市に帰属する。

【参考】京都市市民生活実感調査（令和7年度）

(URL) <https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000345868.html>

調査フローチャート図



スクリーニング調査(調査名:あなた自身に関するアンケート)(別紙2)

このアンケートは、住民基本台帳人口の構成比に合わせてアンケートの回答を回収するため、戸籍上の性別・年齢・居住地域についてお聞きします。

	設問内容	選択肢
設問1	あなたの性別をお教えてください。 ※性別はあなたの戸籍上に登録されています性別を選択してください。	1 男性、2 女性
設問2	あなたの年齢をお教えてください。	1 20歳未満、2 20歳代、3 30歳代、4 40歳代、5 50歳代、6 60歳代、7 70歳代以上
設問3	あなたのお住まいの居住地をお教えてください。	47都道府県から選択
設問4	(設問3で京都府を回答された方)あなたのお住まいの居住区をお教えてください。	1 京都市北区、2 京都市上京区、3 京都市左京区、4 京都市中京区、5 京都市東山区、6 京都市山科区、7 京都市下京区、8 京都市南区、9 京都市右京区、10 京都市西京区、11 京都市伏見区、12 京都市以外の市町村

【調査A・B共通】調査趣旨(別紙3-1)

このアンケートは、京都市政のさまざまな分野について、市民生活の状態が今どのようなになっているかを調査し、より良いまちづくりに役立てるものです。
お忙しいところお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。
ご回答いただいた内容は、貴重なデータとして、市民の皆様にも活用いただけるよう公開させていただきます。
なお、すべての設問を無回答にしていたり、すべての設問で同一のアルファベットを選択しているなど、不正な回答とみなされる場合は、有効回答から除外します。

【調査A・B共通】市政関心度・幸福実感質問項目（別紙3-2）

あなたの実感として、当てはまるものを一つ選んでください。

	質問	そう思う (a)	やや そう思う (b)	どちら とも 言えない (c)	あまり そう 思わない (d)	そう 思わない (e)
市政関心度	自分は京都市政に関心がある。					
幸福実感	自分は今、幸せだと思う。					
定住意向	自由に住む場所を選べる場合、京都に住み続けたい。					

【調査A】生活実感質問項目(別紙3-3)

それぞれの質問について、あなたの実感やイメージに当てはまるもの一つを選んでください。実感やイメージがわからない質問は、空欄のままにしておいてください。

質問	そう思う (a)	ややそう思う (b)	どちらとも言えない (c)	あまりそう 思わない (d)	そう思わ ない (e)
1 環境に配慮した行動を実践する社会になってきている。					
2 マイバッグの利用やごみの分別・リサイクルの徹底など、ごみの出ないくらしと事業活動が広がっている。					
3 一人一人が互いを認め合い、多様な考え方や生き方を迎え入れて交流している。					
4 仕事と生活(家庭や地域活動など)をバランスよく充実できる社会になってきている。					
5 近所で日頃からあいさつが行われるなど、人と人がつながり、安心して暮らせる地域になっている。					
61 自治会・町内会等が、防災、防犯、見守り活動、町内美化等、地域のための取組を行っている。					
6 市民・事業者等により、地域の防犯・交通安全活動が盛んに行われている。					
7 悪質商法などによる消費者被害を防止し、被害者を救済するしくみが充実している。					
8 日々のくらしに文化がとけ込み、市民が文化に触れることが出来ている。					
60 文化芸術活動が、京都のまちの活気につながっている。					
9 海外との文化交流が進み、相互理解が深まっている。					
10 有形無形の京都文化遺産が日常生活の中で生かされ、大切に守り伝えられている。					
11 市民がスポーツを楽しみ、健康で心豊かにくらししている。					
12 市民がスポーツを楽しんだり、スポーツを支える活動を通じて、様々な人と人がつながっている。					
13 京都には、地域とともに発展し、大切にされている企業やお店が沢山ある。					
14 京都では、独自性の高い製品が生み出され、世界で活躍する企業が多く集まっている。					
62 国内外から起業家や芸術家など様々な人が京都のまちに集まり、創造性の高い風土が生まれている。					
15 京都は活気ある商店が地域のにぎわいを生み出し、快適に買い物ができるまちである。					
16 安心・安全で品質の良い食材が流通している。					
17 観光は産業振興や雇用拡大、文化や景観の維持・向上、公共交通の充実など、地域に恩恵をもたらしている。					
18 京都では、災害や感染症などの様々な危機に対応できる安心・安全な観光が実現している。					
19 農林業が魅力的な産業となり、後継者や新たな担い手が育っている。					
20 農林業が京の食文化や伝統産業を支え、環境や健康づくりなどの様々な分野にも役立っている。					
21 「大学のまち」として学びの環境が充実し、京都ならではの学びと出会うことができる。					
22 学生が地域活動などで活躍、成長し、地域を活性化している。					
23 京都で学んだ学生が、市内企業に就職するなど、卒業後も京都で活躍している。					
24 市民、民間主体の国際交流が行われ、様々な世代で外国文化への関心や理解が高まっている。					
25 国籍、民族、文化等が違っていても互いに理解し合い、文化の多様さを感じられるまちとなっている。					
26 若者に様々な可能性が開かれ、自分が希望する将来像に向けて行動している。					
27 子育て家庭がともに学び相談し合うことで、子育ての楽しさや素晴らしさを実感している。					
28 障害への理解が進み、障害のある人もない人も、認め合い、支え合って安心してくらししている。					
29 障害のある人が住み慣れた地域でくらしやすくなってきている。					
30 様々な団体が地域の活動に参加しており、地域における支え合いの活動が活発になっている。					
31 ごみ屋敷や地域社会からの孤立など、個人が抱える課題を行政や関係機関が受け止め、支援につなげている。					
32 高齢者が元気に社会に参加し、仕事や地域活動などで活躍している。					
33 頼れる医療機関があり、必要なときに利用しやすい。					

34	感染症や食中毒などが発生した時も市民の安全と安心が確保されている。				
35	安全な食品が手に入り、清潔で安心な公衆浴場や理・美容所など、衛生的な生活環境が整っている。				
36	障害や不登校等、支援を必要とする子どものために、様々なニーズに応じた教育が展開されている。				
37	働き方改革が進み、教職員が子どもといきいきと向き合っている。				
63	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らしている。				
38	子どもから高齢者までが、学ぶ機会と、学びの成果を生かして活動する機会を有している。				
39	子どもから高齢者まで様々な世代が交流し、学び合っている。				
40	高齢者や障害のある人、子ども、外国籍の人なども災害時にスムーズに避難できる。				
41	自宅の防災対策や備蓄、防災訓練への参加など、災害などに自主的に備えている人が増えている。				
64	私の暮らしている地域では、災害が起こっても周りの人たちと協力し合って対応できる。				
42	自動車の利用を控え、公共交通、徒歩、自転車を組み合わせて出かけるライフスタイルが定着している。				
43	京都市内の移動は公共交通が便利である。				
44	「らくなん進都」をはじめとする、京都の新たな活力を担う地域に産業の集積が進むなど、発展してきている。				
45	市内の様々な地域が、その地域の文化や資源をいかした魅力的なまちになっている。				
46	洛西や向島のニュータウンに新たなにぎわいが生まれ、魅力的になっている。				
47	豊かな自然的景観、歴史的景観が守られている。				
48	いきいきとしたくらしやまちの活気が生み出されるような新たな景観が生み出されている。				
49	京都の魅力ともなる細い道は、その風情を生かしつつ、地震や火災で被害が広がらないよう改善されている。				
50	日々の生活の中で、地域とのつながりや環境・景観に配慮されたすまいの工夫と知恵が大切にされている。				
51	適切にリフォーム・リノベーションされ、長く使える良質な中古住宅が増え、活用が進んでいる。				
52	災害時も安心・安全に通行できる道路網が整備されている。				
53	四季を感じさせ、まちのにぎわいに華を添えるような街路樹や公園が身近にある。				
54	市内の道路や橋が安心安全な状態で管理されている。				
55	文化財や京都らしい町並みを火災などから守る取組が市民ぐるみで行われている。				
56	消防署は、様々な災害や事故などが発生した際に頼りになる。				
57	上下水道は安全で安心していつでも利用できる。				
58	大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。				
59	上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。				

【調査B】生活実感質問項目（別紙3-4）

それぞれの質問について、あなたの実感やイメージに当てはまるものを一つ選んでください。実感やイメージがわからない質問は、空欄のままにしておいてください。

質問	そう思う (a)	ややそう 思う (b)	どちらとも 言えない (c)	あまりそ う思わな い (d)	そう思わ ない (e)
1 様々な生き物が生息する良好な自然環境が保たれている。					
2 暮らしの中で、環境について学び、実践する人が世代を問わず増えてきている。					
60 私の暮らしている地域の身近な自然環境が守られ、受け継がれていると感じる。					
3 様々な人に、いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や、自分に合った働き方を見つける機会がある。					
62 私の暮らしている地域では、多様な人が自分らしく暮らせている。					
4 男女間等における暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。					
6 地域活動に、NPOやボランティア、大学、企業などの様々な団体に関わり、協力している。					
61 近所で日頃からあいさつが行われるなど、人と人の関わりやつながりを感じる。					
63 私が困った時や苦しい時に身近に助けてくれる人や安心して過ごせる場所がある。					
7 地域のつながり・交流が深まり、犯罪等の心配が少なく、安心して安全にくらせるまちとなっている。					
8 消費生活に関する情報や知識を備え、みずから考え行動する消費者が増えている。					
9 文化芸術活動によって、社会や経済が活気づいている。					
10 文化芸術に携わる人や応援する人が育ち、文化芸術活動が活発に行われている。					
11 市民がスポーツに身近に触れる機会があり、スポーツがまちの魅力を高めている。					
12 多様な人々が京都でいきいきと働いている。					
13 国内外から起業家など様々な人が集まり、世界に羽ばたく企業が生まれている。					
14 現代のライフスタイルにも対応した伝統産業製品が生み出され、次世代を担う、つくり手が育ってきている。					
15 京の食文化が受け継がれ、発展し続けている。					
16 文化財や街並み、食、買い物等の多様な魅力が高まり、観光客が高い満足を感じている。					
17 京都では、観光業に携わる人たちが、やりがいと誇りをもって活躍している。					
18 国際会議、イベント、企業ミーティングや研修旅行等が盛んに開かれ、世界中から多様な人々が集まっている。					
19 災害や自然環境の変化、野生鳥獣などによる農林業被害への未然防止対策が進んでいる。					
20 農地や森林と身近に触れ合える機会が増え、自然が大切にされている。					
21 世界中から集まる留学生や研究者が京都で学び、国際社会で活躍する人材が育っている。					
22 大学の人材や研究成果が市民や企業の成長に役立っている。					
23 「大学のまち」「学生のまち」として国内外から様々な学生が集まっている。					
24 京都には、世界から留学、ビジネス等を目的として訪れる人々を引き寄せる魅力がある。					
25 京都は、海外の都市と文化のみならず経済・芸術など様々な分野で活発に交流し、国際社会にも貢献している。					
61 京都のまちには国内外からの多様な人々との交流する機会があり、新たな気づきや学びに出会えている。					
26 子どもが尊重され、希望を持って健やかにたくましく育っている。					
27 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。					
28 障害のある人の就労や社会参加が進んできている。					
29 バリアフリーの建物や、誰もが使いやすいデザインの製品が普及し、くらしやすくなっている。					
30 地域の住民が互いにそれぞれの多様性を認め合い、支え合うことで、安心して過ごせる地域になっている。					
31 市民が体やこころの健康づくりに主体的に取り組んでいる。					
32 高齢者が支援や介護が必要になっても住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができる。					

33	違法民泊が根絶され、安全で安心な生活環境になっている。				
34	動物を思いやり、動物との正しい関わりを考えることなどにより、人と動物が共にくらすことができている。				
35	保護者や地域の人々が学校の様々な活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる。				
36	京都ならではの伝統文化や環境の教育が、持続可能な社会を支える人材の育成に役立っている。				
37	図書館をはじめ多様な機関が学びの機会を豊富に提供し、市民が様々な場で学んでいる。				
38	子どもたちが社会の宝として市民ぐるみ・地域ぐるみで育まれている。				
39	自治会・町内会や行政等がしっかり連携し、災害などが発生した際にしなやかに強く対応できている。				
40	災害時に市民や観光客などが的確に避難行動などを起こすことができている。				
41	京都のまちを出歩くことは楽しく、健康にもよい。				
42	市バス・地下鉄は、市民生活に役立っている。				
43	自転車がルールやマナーを守って安心・安全で快適に利用されている。				
44	徒歩や公共交通で移動できる範囲に生活に必要な施設や働く場があり、様々な世代がくらしやすい。				
45	京都市中心部や京都駅周辺、二条・丹波口・梅小路周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。				
46	身近な地域で、町並み保全やにぎわいづくりなどの自主的なまちづくり活動が進んでいる。				
47	市街地が周囲の山並みと調和した品格ある景観となっている。				
48	京町家など京都独特の風情ある町並み景観が守られている。				
49	新しく建てられた建築物は、バリアフリーや環境に配慮されている。				
50	建築物が健全で安全な状態で活用されている。				
51	幅広い世代の人々が安心・安全で快適に暮らし、京都に住み続けたいと思っている。				
52	高齢者向け住宅など、様々なニーズに応じた住宅の選択肢が広がり、すまいに困っている人が少ない。				
53	公園が、快適な都市環境の創出・向上のほか、地域活動や健康づくりなど、様々な用途で活用されている。				
54	道路や公園などがバランスよく整備され、安心・安全で魅力と活気にあふれた市街地が増えている。				
55	防火の取組が市民ぐるみで進み、火災の心配が少ないまちになっている。				
56	急な病気や怪我の際の相談体制や救急隊の搬送体制が十分に整っている。				
57	災害が起こっても被害が抑えられるよう、地域ぐるみでの備えが進んでいる。				
58	水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている。				
59	上下水道は便利で市民の役に立っている。				

【調査A・B共通】政策重要度質問項目（別紙3-5）

京都市が取り組んでいるそれぞれの政策について、現在のあなたにとってどれだけ重要か、当てはまるものを一つ選んでください。

質問	重要 (a)	やや重要 (b)	どちらとも 言えない (c)	あまり 重要 でない (d)	重要 でない (e)
1 環境					
2 人権・男女共同参画					
3 市民生活とコミュニティ					
4 市民生活の安全					
5 文化					
6 スポーツ					
7 産業・商業					
8 観光					
9 農林業					
10 大学					
11 国際					
12 子ども・若者支援					
13 障害者福祉					
14 地域福祉					
15 健康長寿					
16 保健衛生・医療					
17 学校教育					
18 生涯学習					
19 危機管理・防災・減災					
20 歩くまち					
21 土地・空間利用と都市機能配置					
22 景観					
23 建築物					
24 住宅					
25 道と公園・緑					
26 消防・救急					
27 暮らしの水					

【調査A・B共通】自由記述（別紙3-6）

京都市に望むこと、このアンケートに関する事など何でも結構です。ご意見、ご提案がございましたらご記入ください。
(特に、「そう思わない」または「どちらとも言えない」を選んだ質問や、回答しなかった質問があった場合、その理由をお聞かせいただければ幸いです。)

【調査A・B共通】属性質問項目（別紙3-7）

次の各項目について、該当するもの一つを選んでください。

① 性別	a. 男
	b. 女
	c. 上記以外
② 年齢	a. 20歳代
	b. 30歳代
	c. 40歳代
	d. 50歳代
	e. 60歳代
	f. 70歳代以上
③ 職業	a. 自営業・自由業
	b. 会社員・公務員
	c. 主婦・主夫
	d. 学生
	e. 無職
	f. その他
④ 居住区	a. 北区
	b. 上京区
	c. 左京区
	d. 中京区
	e. 東山区
	f. 山科区
	g. 下京区
	h. 南区
	i. 右京区
	j. 西京区
	k. 伏見区
⑤ 京都市にお住まいの年数	a. 5年未満
	b. 5～11年未満
	c. 11～31年未満
	d. 31年以上

【調査A・B共通】 回答者への情報提供（別紙4）

アンケート調査結果は、今後、以下のページに公開されますので、ご覧ください。

「市民生活実感調査」ホームページ

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/69-17-2-3-0-0-0-0-0-0.html>

アンケート調査結果は、京都市の政策評価に活用しています。

政策評価結果は以下のホームページからご覧ください。

「政策評価制度」ホームページ

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035589.html>

京都市の政策評価に関する御意見・御提案をお待ちしています。

「市民意見申出制度」ホームページ

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000253980.html>

令和7年度市民生活実感調査結果

調査票	政策	設問		調査結果						評価結果		
		コード		そう思う (a)	ややそう 思う (b)	どちらと も言え ない(c)	あまり そう思 わない (d)	そう思 わない (e)	無回答	有効回答	点数	市民生 活実態 評価
A 1	1 環境	1	環境に配慮した行動を実践する社会になってきている	49	361	382	211	49	4	1052	0.143	c
B 1		2	様々な生き物が息する良好な自然環境が保たれている	53	313	368	229	72	9	1035	0.044	c
A 2		3	マイバッグの利用やごみの分別・リサイクルの徹底など、ごみの出ない暮らしと事業活動が広がっている	124	557	249	89	35	2	1054	0.613	b
B 2		4	暮らしの中で、環境について学び、実践する人が世代を問わず増えてきている	16	216	431	293	78	10	1034	-0.194	c
A 60		5	京都の身近な自然環境が守られ、受け継がれていると思う	45	341	424	169	73	4	1052	0.110	c
B 3	2 人権・ 男女共同 参画	6	様々な人に、いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や、自分に合った働き方を見つける機会がある	24	211	439	267	92	11	1033	-0.186	c
A 3		7	一人一人が互いを認め合い、多様な考え方や生き方を迎え入れて交流している	26	295	491	169	67	8	1048	0.042	c
B 4		8	男女間等における暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている	21	160	434	281	142	6	1038	-0.350	d
A 4		9	仕事と生活(家庭や地域活動など)をバランスよく充実できる社会になってきている	23	247	473	227	79	7	1049	-0.088	c
B 6	3 コミュ ニティ	10	地域活動に、NPOやボランティア、大学、企業などの様々な団体が関わり、協力している	38	270	431	205	93	7	1037	-0.043	c
A 5		11	近所で日頃からあいさつが行われるなど、人と人がつながり、安心して暮らせる地域になっている	54	262	436	226	72	6	1050	0.000	c
B 60		12	近所で日頃からあいさつが行われるなど、人と人がつながっている	58	309	353	217	98	9	1035	0.012	c
A 61		13	自治会・町内会等が、防災、防犯、見守り活動、町内美化等、地域のための取組を行っている	65	316	396	190	82	7	1049	0.088	c
B 7	4 安全	14	地域のつながり・交流が深まり、犯罪等の心配が少なく、安心して安全にくらせるまちとなっている	30	244	454	206	103	7	1037	-0.104	c
A 6		15	市民・事業者等により、地域の防犯・交通安全活動が盛んに行われている	25	234	504	213	70	10	1046	-0.066	c
B 8		16	消費生活に関する情報や知識を備え、みずから考え行動する消費者が増えている	31	306	462	172	67	6	1038	0.060	c
A 7		17	悪質商法などによる消費者被害を防止し、被害者を救済するしくみが充実している	15	139	507	286	103	6	1050	-0.308	d
B 9	5 文化	18	文化芸術活動によって、社会や経済が活気づいている	57	254	438	200	87	8	1036	-0.006	c
A 8		19	日々の暮らしに文化がとけ込み、市民が文化に触れることが出来ている	56	327	428	174	64	7	1049	0.131	c
B 10		20	文化芸術に携わる人や応援する人が育ち、文化芸術活動が活発に行われている	53	260	432	199	89	11	1033	-0.011	c
A 9		21	海外との文化交流が進み、相互理解が深まっている	31	247	427	244	97	10	1046	-0.123	c
A 10		22	有形無形の京都文化遺産が日常生活の中で生かされ、大切に守り伝えられている	79	382	375	160	53	7	1049	0.261	c
B 11	6 スポー ツ	23	市民がスポーツに身近に触れる機会があり、スポーツがまちの魅力を高めている	29	186	442	277	100	10	1034	-0.225	c
A 11		24	市民がスポーツを楽しみ、健康で心豊かにくらししている	21	238	524	198	66	9	1047	-0.048	c
A 12		25	市民がスポーツを楽しんだり、スポーツを支える活動を通じて、様々な人と人がつながっている	20	203	537	218	67	11	1045	-0.104	c
B 12	7 産業・ 商業	26	多様な人々が京都でいきいきと働いている	54	354	415	160	55	6	1038	0.185	c
A 13		27	京都には、地域とともに発展し、大切にされている企業やお店が沢山ある	148	455	307	88	48	10	1046	0.542	b
B 13		28	国内外から起業家など様々な人が集まり、世界に羽ばたく企業が生まれている	49	296	438	183	64	14	1030	0.081	c
A 14		29	京都では、独自性の高い製品が生み出され、世界で活躍する企業が多く集まっている	116	446	342	107	37	8	1048	0.474	b
B 14		30	現代のライフスタイルにも対応した伝統産業製品が生み出され、次世代を担う、つくり手が育ってきている	34	250	456	214	77	13	1031	-0.048	c

A	15	31	京都が活気ある商店が地域のにぎわいを生み出し、快適に買い物ができるまちである	43	276	439	206	84	8	1048	-0.011	c
B	15	32	京の食文化が受け継がれ、発展している	82	396	368	132	52	14	1030	0.315	b
A	16	33	安心・安全で品質の良い食材が流通している	57	377	459	106	47	10	1046	0.278	c
B	16	34	文化財や街並み、食、買い物等の多様な魅力が高まり、観光客が高い満足を感じている	108	418	329	121	59	9	1035	0.382	b
A	17	35	観光は産業振興や雇用拡大、文化や景観の維持・向上、公共交通の充実など、地域に恩恵をもたらしている	49	283	378	201	133	12	1044	-0.082	c
B	17	36	京都では、観光業に携わる人たちが、やりがいと誇りをもって活躍している	90	354	405	122	62	11	1033	0.279	c
A	18	37	京都では、災害や感染症などの様々な危機に対応できる安心・安全な観光が実現している	25	224	478	222	97	10	1046	-0.136	c
B	18	38	国際会議、イベント、企業ミーティングや研修旅行等が盛んに開かれ、世界中から多様な人々が集まっている	70	389	403	119	54	9	1035	0.292	c
A	19	39	農林業が魅力的な産業となり、後継者や新たな担い手が育っている	18	86	426	379	136	11	1045	-0.506	d
B	19	40	災害や自然環境の変化、野生鳥獣などによる農林業被害への未然防止対策が進んでいる	25	151	536	237	82	13	1031	-0.194	c
A	20	41	農林業が京の食文化や伝統産業を支え、環境や健康づくりなどの様々な分野にも役立っている	28	224	479	234	81	10	1046	-0.111	c
B	20	42	農地や森林と身近に触れ合える機会が増え、自然が大切にされている	29	203	465	257	75	15	1029	-0.142	c
A	21	43	「大学のまち」として学びの環境が充実し、京都ならではの学びと出会うことができる	99	438	348	127	36	8	1048	0.417	b
B	21	44	世界中から集まる留学生や研究者が京都で学び、国際社会で活躍する人材が育っている	63	398	394	115	61	13	1031	0.278	c
A	22	45	学生が地域活動などで活躍、成長し、地域を活性化している	41	327	463	168	50	7	1049	0.134	c
B	22	46	大学の人材や研究成果が市民や企業の成長に役立っている	63	328	445	133	60	15	1029	0.195	c
A	23	47	京都で学んだ学生が、市内企業に就職するなど、卒業後も京都で活躍している	24	206	496	232	87	11	1045	-0.145	c
B	23	48	「大学のまち」「学生のまち」として国内外から様々な学生が集まっている	156	512	249	71	47	9	1035	0.637	b
A	24	49	市民、民間主体の国際交流が行われ、様々な世代で外国文化への関心や理解が高まっている	30	258	490	197	71	10	1046	-0.020	c
B	24	50	京都には、世界から留学、ビジネス等を目的として訪れる人々を引き寄せる魅力がある	102	384	376	114	59	9	1035	0.344	b
A	25	51	国籍、民族、文化等が違っていても互いに理解し合い、文化の多様さを感じられるまちとなっている	33	259	459	193	100	12	1044	-0.065	c
B	25	52	京都は、海外の都市と文化のみならず経済・芸術など様々な分野で活発に交流し、国際社会にも貢献している	85	391	399	103	53	13	1031	0.341	b
B	61	53	国内外からの多様な人々との交流により、新たな価値や学びに出会えている	67	343	448	114	57	15	1029	0.242	c
A	26	54	若者に様々な可能性が開かれ、自分が希望する将来像に向けて行動している	24	200	510	228	84	10	1046	-0.141	c
B	26	55	子どもが尊重され、希望を持って健やかにたくましく育っている	29	217	513	196	75	14	1030	-0.069	c
A	27	56	子育て家庭がともに学び相談し合うことで、子育ての楽しさや素晴らしさを実感している	25	161	517	245	96	12	1044	-0.216	c
B	27	57	子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる	49	302	473	138	68	14	1030	0.122	c
A	28	58	障害への理解が進み、障害のある人もない人も、認め合い、支え合って安心してくらししている	25	193	517	229	82	10	1046	-0.143	c
B	28	59	障害のある人の就労や社会参加が進んできている	27	200	512	207	84	14	1030	-0.117	c
A	29	60	障害のある人が住み慣れた地域でくらしやすくなっている	20	175	528	232	91	10	1046	-0.190	c
B	29	61	バリアフリーの建物や、誰もが使いやすいデザインの製品が普及し、くらしやすくなっている	31	228	487	202	82	14	1030	-0.074	c
A	30	62	様々な団体が地域の活動に参加しており、地域における支え合いの活動が活発になっている	19	223	542	198	65	9	1047	-0.064	c
B	30	63	地域の住民が互いにそれぞれの多様性を認め合い、支え合うことで、安心して過ごせる地域になっている	24	194	532	199	86	9	1035	-0.125	c
A	31	64	ごみ屋敷や地域社会からの孤立など、個人が抱える課題を行政や関係機関が受け止め、支援につなげている	15	127	532	285	88	9	1047	-0.290	c
B	31	65	市民が体やこころの健康づくりに主体的に取り組んでいる	25	221	521	192	76	9	1035	-0.071	c

A 32	15 健康 長寿	66	高齢者が元気に社会に参加し、仕事や地域活動などで活躍している	35	253	509	195	56	8	1048	0.015	c
B 32		67	高齢者が支援や介護が必要になっても住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができている	27	213	510	197	88	9	1035	-0.102	c
A 33	16 保健 衛生・医療	68	頼れる医療機関があり、必要なときに利用しやすい	84	418	373	122	53	6	1050	0.341	b
B 33		69	違法民泊が根絶され、安全で安心な生活環境になっている	24	147	442	263	159	9	1035	-0.373	d
A 34		70	感染症や食中毒などが発生した時も市民の安全と安心が確保されている	33	231	568	160	53	11	1045	0.030	c
B 34		71	動物を思いやり、動物との正しい関わりを考えることなどにより、人と動物が共にくらすことができている	22	201	538	195	75	13	1031	-0.097	c
A 35		72	安全な食品が手に入り、清潔で安心な公衆浴場や理・美容所など、衛生的な生活環境が整っている	76	368	450	112	42	8	1048	0.309	b
B 35	17 学校 教育	73	保護者や地域の人々が学校の様々な活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる	22	217	562	165	65	13	1031	-0.033	c
A 36		74	障害や不登校等、支援を必要とする子どものために、様々なニーズに応じた教育が展開されている	28	181	599	175	63	10	1046	-0.061	c
B 36		75	京都ならではの伝統文化や環境の教育が、持続可能な社会を担える人材の育成に役立っている	42	314	468	143	65	12	1032	0.121	c
A 37		76	働き方改革が進み、教職員が子どもといきいきと向き合っている	13	137	571	237	87	11	1045	-0.237	c
B 37	18 生涯 学習	77	図書館をはじめ多様な機関が学びの機会を豊富に提供し、市民が様々な場で学んでいる	46	306	478	142	61	11	1033	0.130	c
A 38		78	子どもから高齢者までが、学ぶ機会と、学びの成果を生かして活動する機会を有している	26	218	533	194	74	11	1045	-0.069	c
B 38		79	子どもたちが社会の宝として市民ぐるみ・地域ぐるみで育まれている	27	228	514	190	70	15	1029	-0.047	c
A 39		80	子どもから高齢者まで様々な世代が交流し、学び合っている	18	195	506	236	87	14	1042	-0.172	c
B 39	19 危機 管理・防 災・減災	81	自治会・町内会や行政等がしっかり連携し、災害などが発生した際にしなやかに強く対応できている	30	208	493	206	95	12	1032	-0.124	c
A 40		82	高齢者や障害のある人、子ども、外国籍の人なども災害時にスムーズに避難できる	16	150	515	263	99	13	1043	-0.267	c
B 40		83	災害時に市民や観光客などが的確に避難行動などを起こすことができている	24	143	522	240	102	13	1031	-0.245	c
A 41		84	自宅の防災対策や備蓄、防災訓練への参加など、災害などに自主的に備えている人が増えている	23	251	504	209	58	11	1045	-0.027	c
B 41	20 歩く まち	85	京都のまちを出歩くことは楽しく、健康にもよい	124	419	306	124	65	6	1038	0.398	b
A 42		86	自動車の利用を控え、公共交通、徒歩、自転車を組み合わせて出かけるライフスタイルが定着している	35	228	438	248	95	12	1044	-0.134	c
B 42		87	市バス・地下鉄は、市民生活に役立っている	157	417	273	111	79	7	1037	0.446	b
A 43		88	京都市内の移動は公共交通が便利である	112	325	291	194	125	9	1047	0.100	c
B 43		89	自転車がルールやマナーを守って安心・安全で快適に利用されている	20	121	384	317	197	5	1039	-0.529	d
A 44	21 土 地・空間 利用と都 市機能配 置	90	「らくなん進都」をはじめとする、京都の新たな活力を担う地域に産業の集積が進むなど、発展してきている	9	163	588	204	75	17	1039	-0.167	c
B 44		91	徒歩や公共交通で移動できる範囲に生活に必要な施設や働く場があり、様々な世代がくらしやすい	82	317	412	149	75	9	1035	0.176	c
A 45		92	市内の様々な地域が、その地域の文化や資源をいかした魅力的なまちになっている	26	232	536	177	72	13	1043	-0.035	c
B 45		93	京都市中心部や京都駅周辺、二条・丹波口・梅小路周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である	119	405	358	95	59	8	1036	0.415	b
A 46		94	洛西や向島のニュータウンに新たなにぎわいが生まれ、魅力的になっている	13	127	453	281	172	10	1046	-0.451	d
B 46		95	身近な地域で、町並み保全やにぎわいづくりなどの自主的なまちづくり活動が進んでいる	38	248	512	168	63	15	1029	0.029	c
A 47	22 景観	96	豊かな自然的景観、歴史的景観が守られている	72	364	410	134	66	10	1046	0.231	c
B 47		97	市街地が周囲の山並みと調和した品格ある景観となっている	87	346	411	118	71	11	1033	0.252	c
A 48		98	いきいきとくらしやまちの活気が生み出されるような新たな景観が生み出されている	26	217	539	177	83	14	1042	-0.071	c
B 48		99	京町家など京都独特の風情ある町並み景観が守られている	110	391	353	106	71	13	1031	0.352	b
A 49		100	京都の魅力ともなる細い道は、その風情を生かしつつ、地震や火災で被害が広がらないよう改善されている	24	188	488	253	94	9	1047	-0.196	c

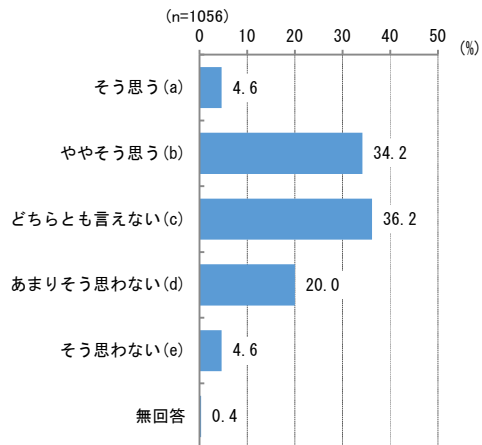
B 49	23 建築物	101	新しく建てられた建築物は、バリアフリーや環境に配慮されている	56	359	441	118	59	11	1033	0.227	c
B 50		102	建築物が健全で安全な状態で活用されている	39	297	494	140	59	15	1029	0.114	c
A 50	24 住宅	103	日々の生活の中で、地域とのつながりや環境・景観に配慮されたすまいの工夫と知恵が大切にされている	26	289	493	174	65	9	1047	0.035	c
B 51		104	幅広い世代の人々が安心・安全で快適に暮らし、京都に住み続けたいと思っている	67	323	422	150	73	9	1035	0.156	c
A 51		105	適切にリフォーム・リノベーションされ、長く使える良質な中古住宅が増え、活用が進んでいる	35	258	488	189	77	9	1047	-0.014	c
B 52		106	高齢者向け住宅など、様々なニーズに応じた住宅の選択肢が広がり、すまいに困っている人が少ない	21	159	498	239	120	7	1037	-0.268	c
A 52		107	災害時も安心・安全に通行できる道路網が整備されている	19	181	500	245	102	9	1047	-0.220	c
B 53	25 道と公園・緑	108	公園が、快適な都市環境の創出・向上のほか、地域活動や健康づくりなど、様々な用途で活用されている	38	243	497	177	77	12	1032	-0.012	c
A 53		109	四季を感じさせ、まちのにぎわいに華を添えるような街路樹や公園が身近にある	116	381	373	125	55	6	1050	0.360	b
B 54		110	道路や公園などがバランスよく整備され、安心・安全で魅力と活気にあふれた市街地が増えている	40	249	457	202	84	12	1032	-0.040	c
A 54		111	市内の道路や橋が安心安全な状態で管理されている	54	299	468	153	76	6	1050	0.097	c
B 55		112	防火の取組が市民ぐるみで進み、火災の心配が少ないまちになっている	28	189	518	222	76	11	1033	-0.125	c
A 55	26 消防・救急	113	文化財や京都らしい町並みを火災などから守る取組が市民ぐるみで行われている	51	291	492	158	52	12	1044	0.125	c
B 56		114	急な病気や怪我の際の相談体制や救急隊の搬送体制が十分に整っている	56	263	489	152	69	15	1029	0.083	c
A 56		115	消防署は、様々な災害や事故などが発生した際に頼りになる	158	431	350	70	38	9	1047	0.574	b
B 57		116	災害が起こっても被害が抑えられるよう、地域ぐるみでの備えが進んでいる	27	170	516	228	85	18	1026	-0.170	c
A 57		27 暮らしの水	117	上下水道は安全で安心していつでも利用できる	160	442	321	91	38	4	1052	0.566
B 58	118		水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている	43	266	487	172	63	13	1031	0.052	c
A 58	119		大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない	181	355	340	123	52	5	1051	0.466	b
B 59	120		上下水道は便利で市民の役に立っている	197	476	264	65	35	7	1037	0.709	b
A 59	121		上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる	97	301	468	133	47	10	1046	0.256	c

設問別集計グラフ

調査票A

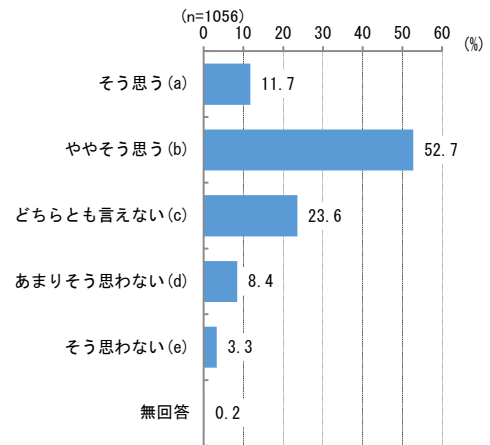
環境

Q1. 環境に配慮した行動を実践する社会になってきている



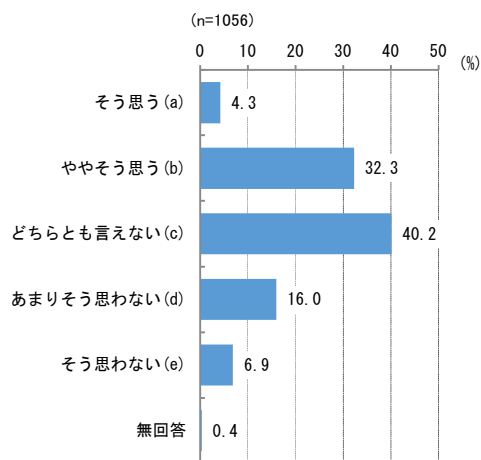
環境

Q2. マイバグの利用やごみの分別・リサイクルの徹底など、ごみの出ないくらいと事業活動が広がっている



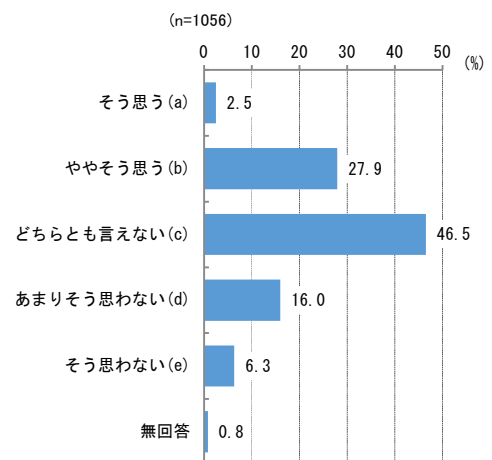
環境

Q60. 京都の身近な自然環境が守られ、受け継がれていると思う



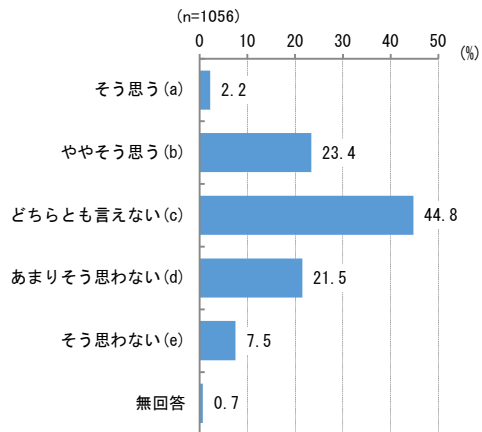
人権・男女共同参画

Q3. 一人一人が互いを認め合い、多様な考え方や生き方を迎え入れて交流している



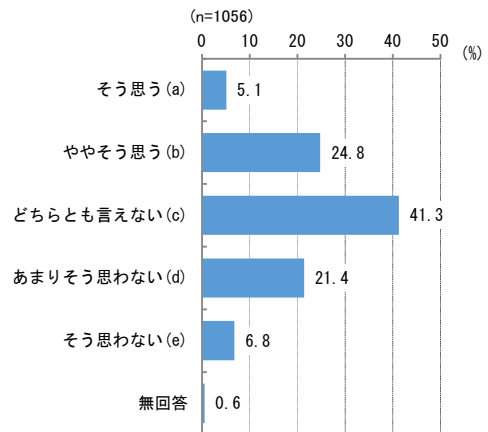
人権・男女共同参画

Q4. 仕事と生活(家庭や地域活動など)をバランスよく充実できる社会になってきている



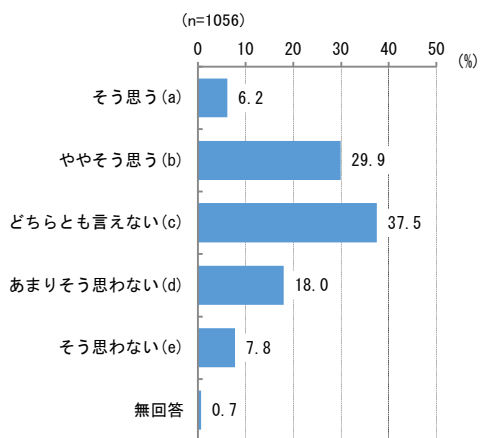
コミュニティ

Q5. 近所で日頃からあいさつが行われるなど、人と人がつながり、安心して暮らせる地域になっている



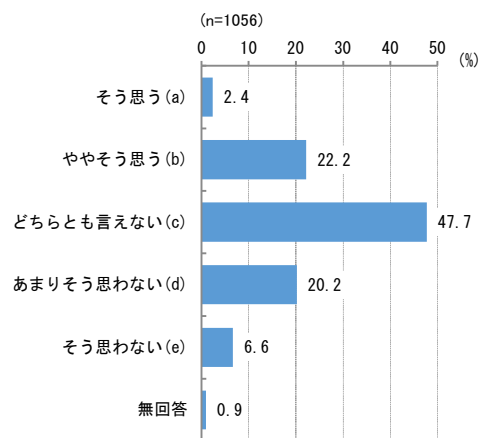
コミュニティ

Q61. 自治会・町内会等が、防災、防犯、見守り活動、町内美化等、地域のための取組を行っている



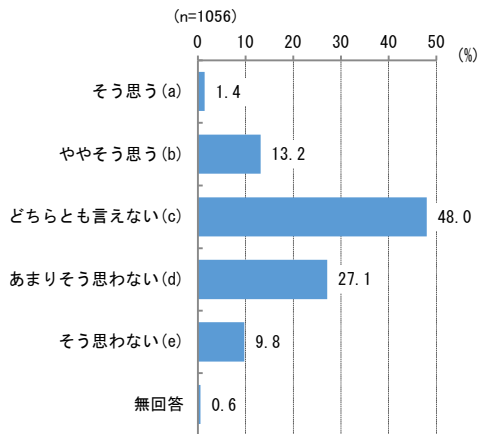
安全

Q6. 市民・事業者等により、地域の防犯・交通安全活動が盛んに行われている



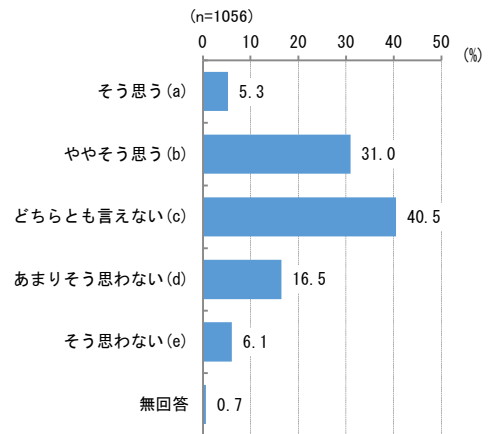
安全

Q7. 悪質商法などによる消費者被害を防止し、被害者を救済するしくみが充実している



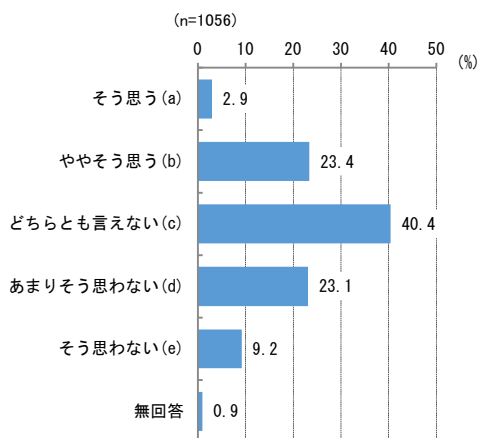
文化

Q8. 日々の暮らしに文化がとけ込み、市民が文化に触れることが出来ている



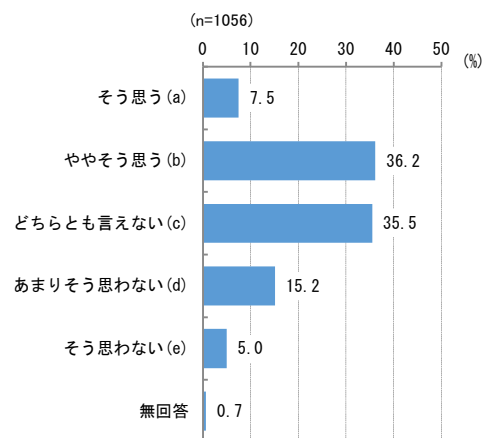
文化

Q9. 海外との文化交流が進み、相互理解が深まっている



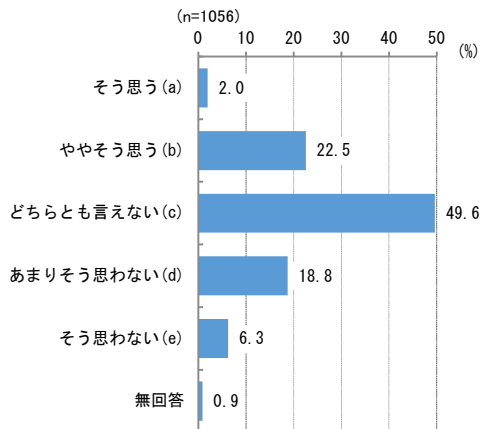
文化

Q10. 有形無形の京都文化遺産が日常生活の中で生かされ、大切に守り伝えられている



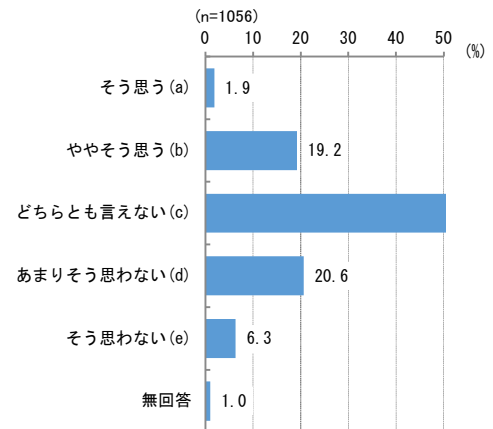
スポーツ

Q11. 市民がスポーツを楽しみ、健康で心豊かにくらししている



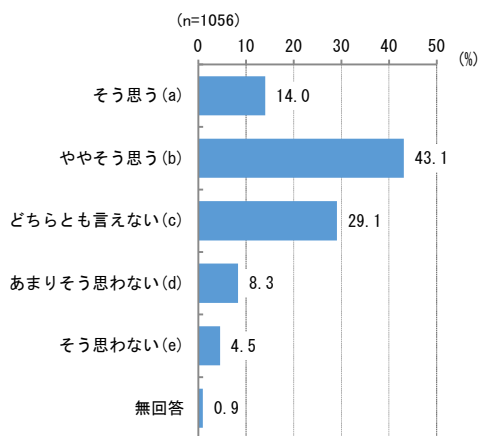
スポーツ

Q12. 市民がスポーツを楽しんだり、スポーツを支える活動を通じて、様々な人と人がつながっている



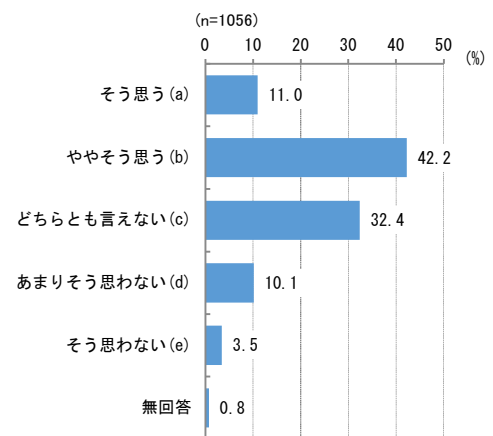
産業・商業

Q13. 京都には、地域とともに発展し、大切にされている企業やお店が沢山ある



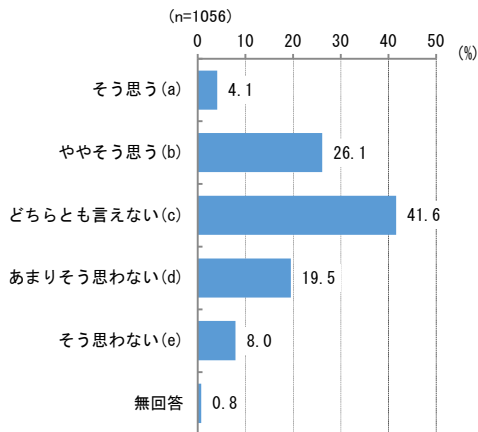
産業・商業

Q14. 京都では、独自性の高い製品が生み出され、世界で活躍する企業が多く集まっている



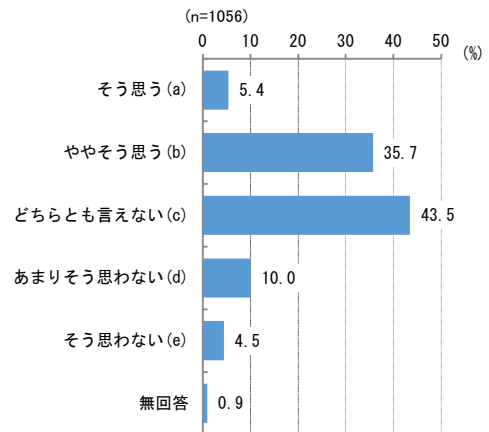
産業・商業

Q15. 京都は活気ある商店が地域のにぎわいを生み出し、快適に買い物ができるまちである



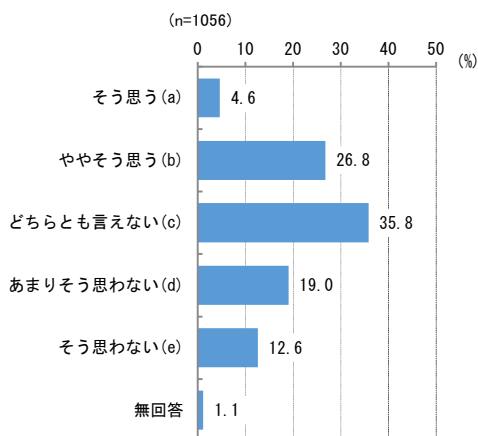
産業・商業

Q16. 安心・安全で品質の良い食材が流通している



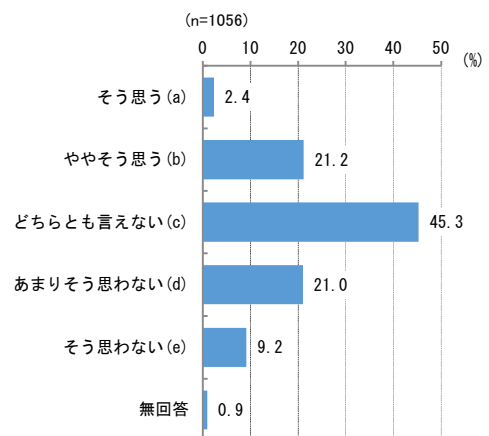
観光

Q17. 観光は産業振興や雇用拡大、文化や景観の維持・向上、公共交通の充実など、地域に恩恵をもたらしている



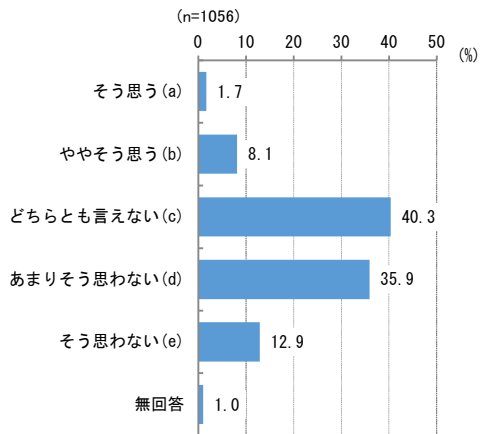
観光

Q18. 京都では、災害や感染症などの様々な危機に対応できる安心・安全な観光が実現している



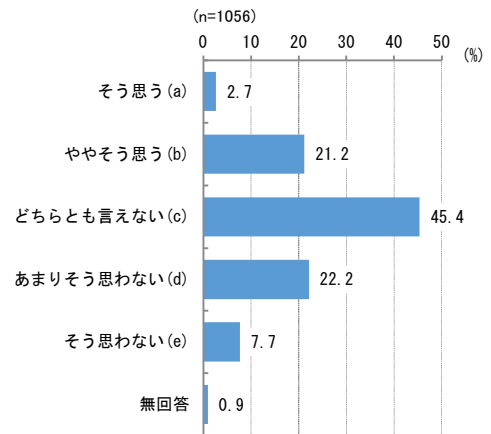
農林業

Q19. 農林業が魅力的な産業となり、後継者や新たな担い手が育っている



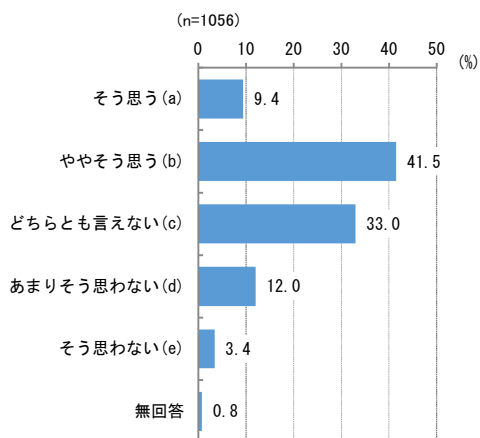
農林業

Q20. 農林業が京の食文化や伝統産業を支え、環境や健康づくりなどの様々な分野にも役立っている



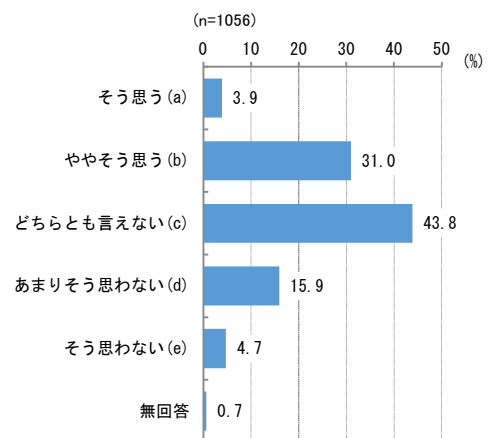
大学

Q21. 「大学のまち」として学びの環境が充実し、京都ならではの学びと出会うことができる



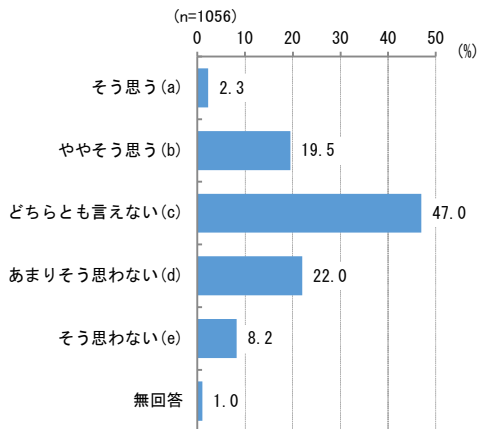
大学

Q22. 学生が地域活動などで活躍、成長し、地域を活性化している



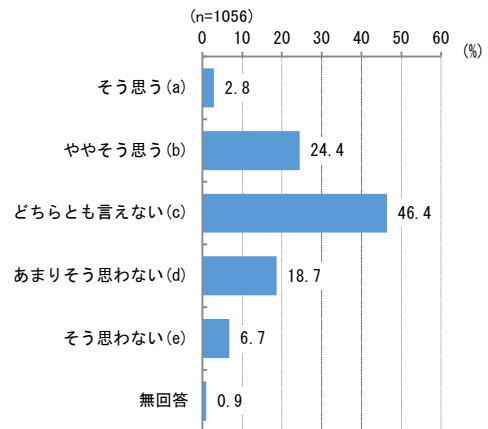
大学

Q23. 京都で学んだ学生が、市内企業に就職するなど、卒業後も京都で活躍している



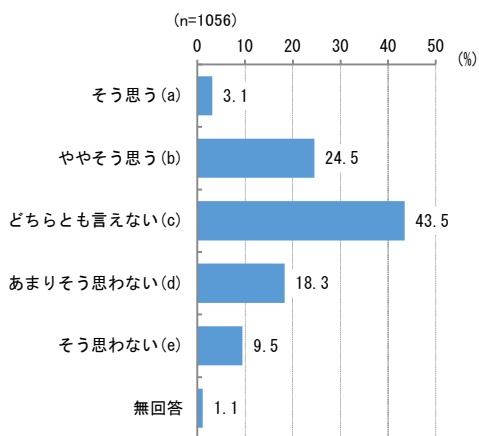
国際

Q24. 市民、民間主体の国際交流が行われ、様々な世代で外国文化への関心や理解が高まっている



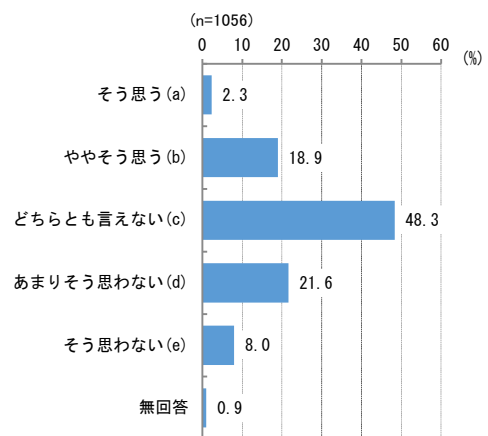
国際

Q25. 国籍、民族、文化等が違って互いに理解し合い、文化の多様さを感じられるまちとなっている



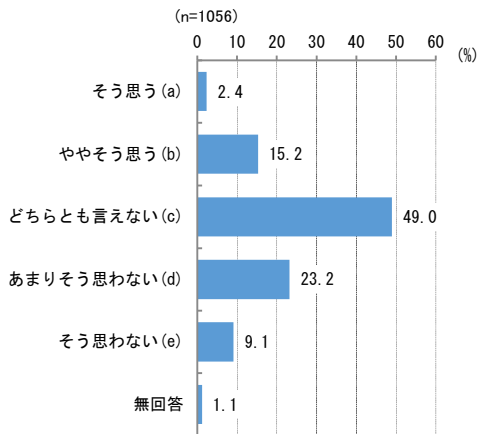
子ども・若者

Q26. 若者に様々な可能性が開かれ、自分が希望する将来像に向けて行動している



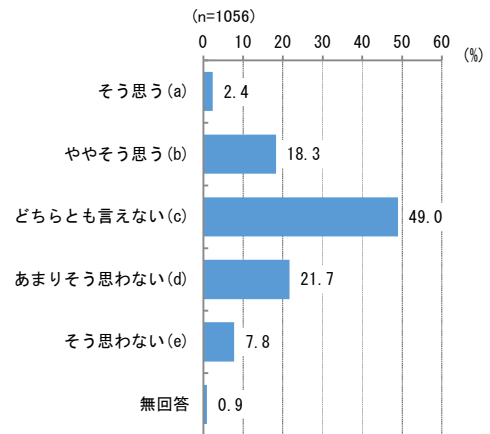
子ども・若者

Q27. 子育て家庭がともに学び相談し合うことで、子育ての楽しさや素晴らしさを実感している



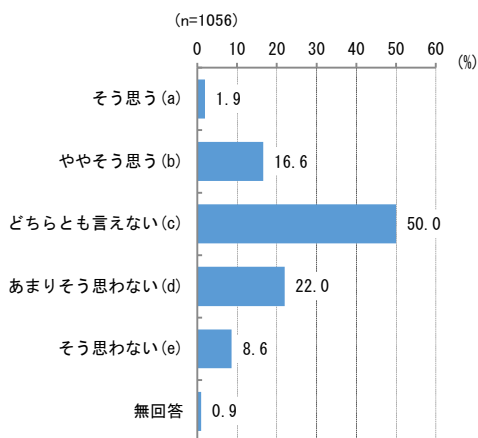
障害者福祉

Q28. 障害への理解が進み、障害のある人もない人も、認め合い、支え合って安心してくれている



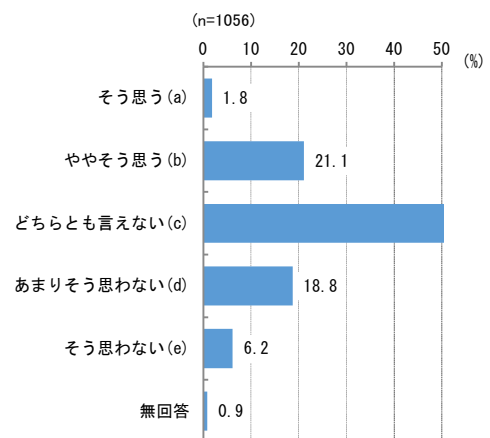
障害者福祉

Q29. 障害のある人が住み慣れた地域でくらしやすくなってきている



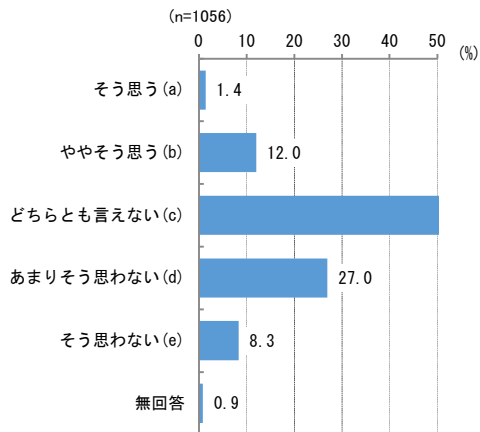
地域福祉

Q30. 様々な団体が地域の活動に参加しており、地域における支え合いの活動が活発になっている



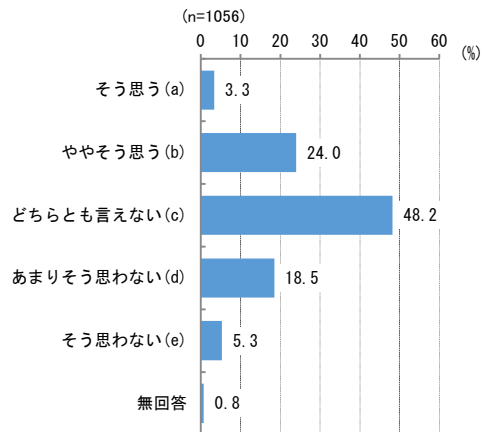
地域福祉

Q31. ごみ屋敷や地域社会からの孤立など、個人が抱える課題を行政や関係機関が受け止め、支援につなげている



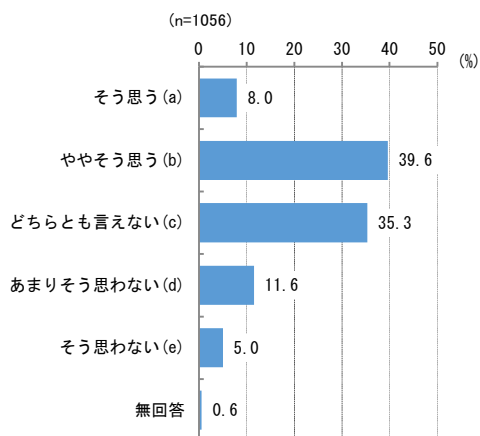
健康長寿

Q32. 高齢者が元気に社会に参加し、仕事や地域活動などで活躍している



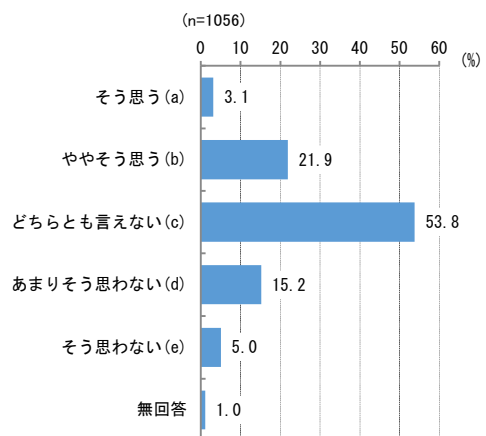
保健衛生・医療

Q33. 頼れる医療機関があり、必要なときに利用しやすい



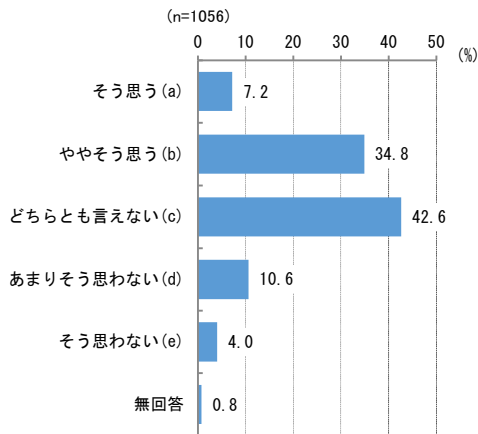
保健衛生・医療

Q34. 感染症や食中毒などが発生した時も市民の安全と安心が確保されている



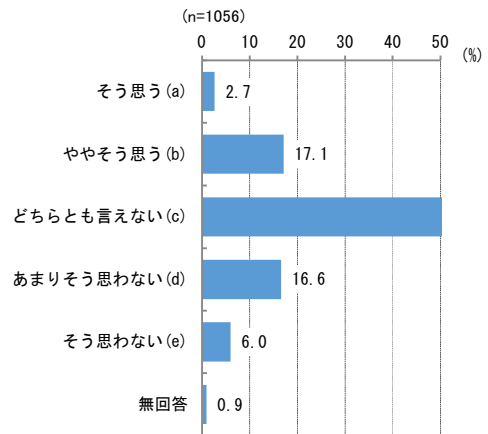
保健衛生・医療

Q35. 安全な食品が手に入り、清潔で安心な公衆浴場や理・美容所など、衛生的な生活環境が整っている



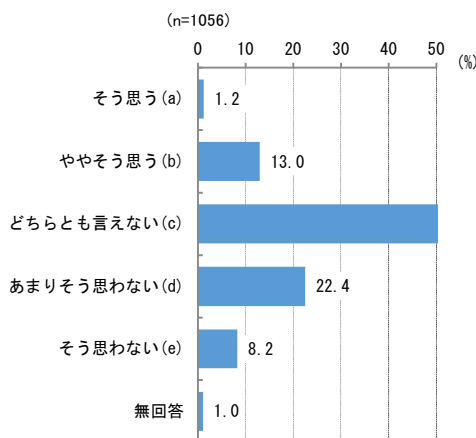
学校教育

Q36. 障害や不登校等、支援を必要とする子どものために、様々なニーズに応じた教育が展開されている



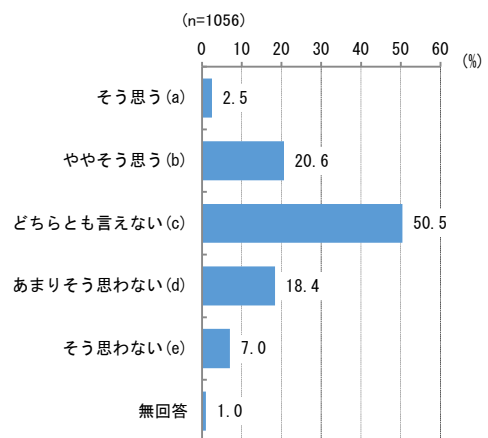
学校教育

Q37. 働き方改革が進み、教職員が子どもときいきと向き合っている



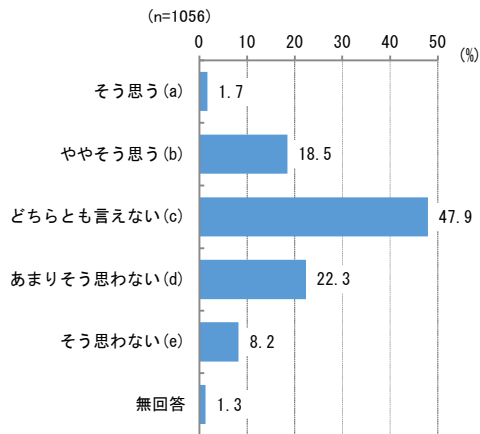
生涯学習

Q38. 子どもから高齢者までが、学ぶ機会と、学びの成果を生かして活動する機会を有している



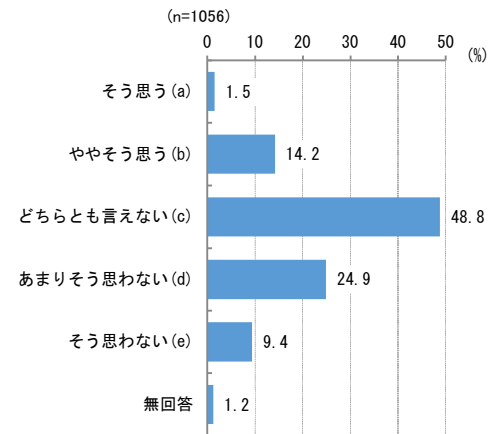
生涯学習

Q39. 子どもから高齢者まで様々な世代が交流し、学び合っている



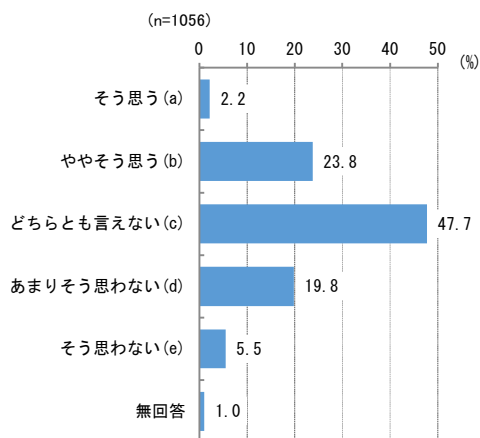
危機管理・防犯・減災

Q40. 高齢者や障害のある人、子ども、外国籍の人なども災害時にスムーズに避難できる



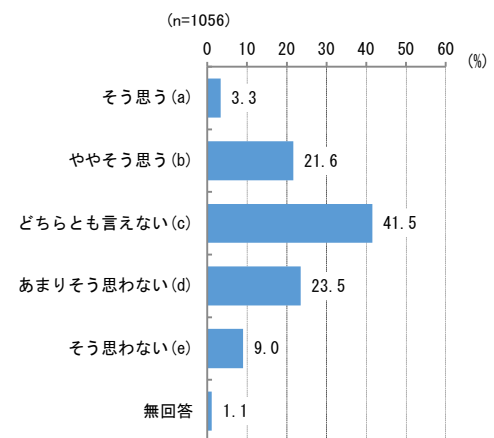
危機管理・防犯・減災

Q41. 自宅の防災対策や備蓄、防災訓練への参加など、災害などに自主的に備えている人が増えている



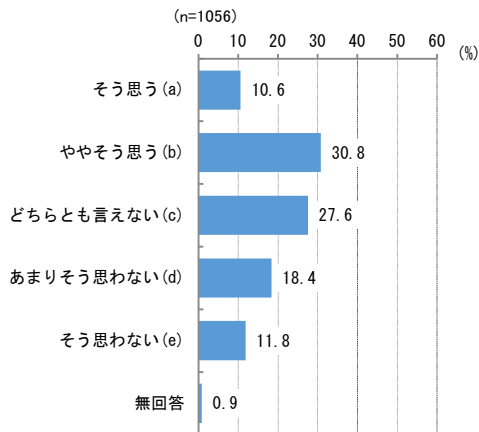
歩くまち

Q42. 自動車の利用を控え、公共交通、徒歩、自転車を組み合わせて出かけるライフスタイルが定着している



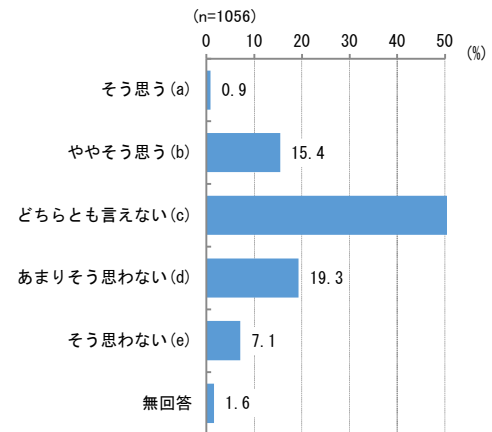
歩くまち

Q43. 京都市内の移動は公共交通が便利である



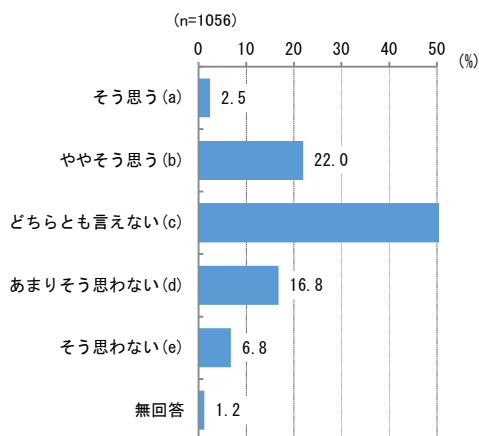
土地・空間利用と都市機能配置

Q44. 「らくなん進都」をはじめとする、京都の新たな活力を担う地域に産業の集積が進むなど、発展してきている



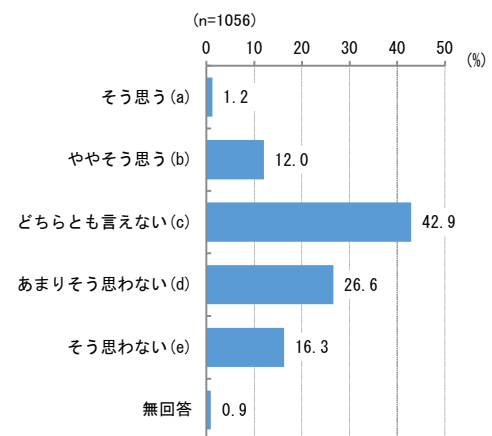
土地・空間利用と都市機能配置

Q45. 市内の様々な地域が、その地域の文化や資源をいかした魅力的なまちになっている



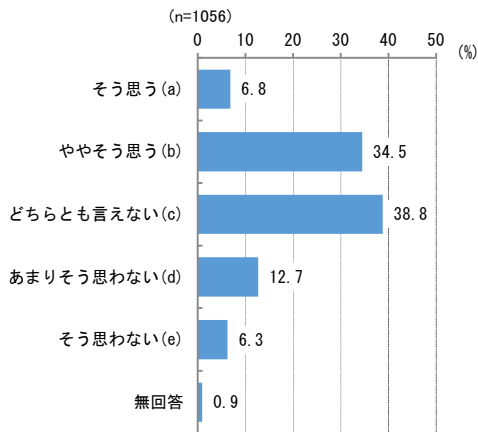
土地・空間利用と都市機能配置

Q46. 洛西や向島のニュータウンに新たなにぎわいが生まれ、魅力的になっている



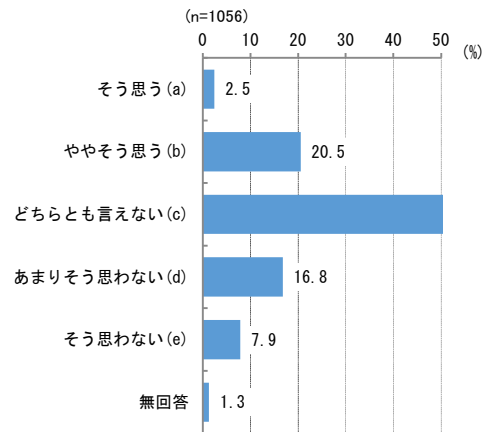
景観

Q47. 豊かな自然的景観、歴史的景観が守られている



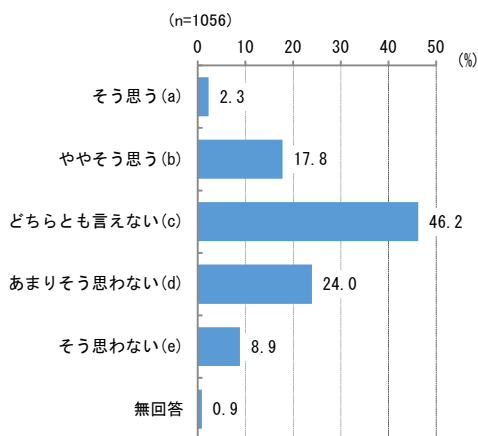
景観

Q48. いきいきとしたくらしやまちの活気が生み出されるような新たな景観が生み出されている



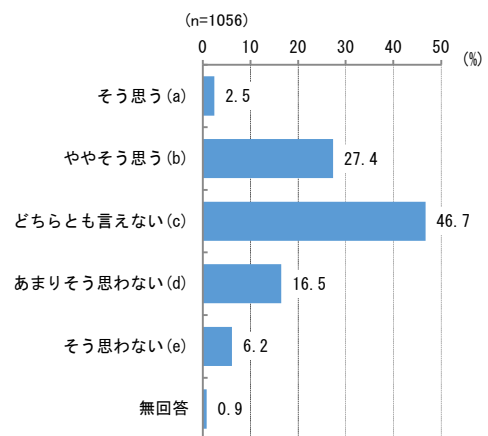
建築物

Q49. 京都の魅力ともなる細い道は、その風情を生かしつつ、地震や火災で被害が広がらないよう改善されている



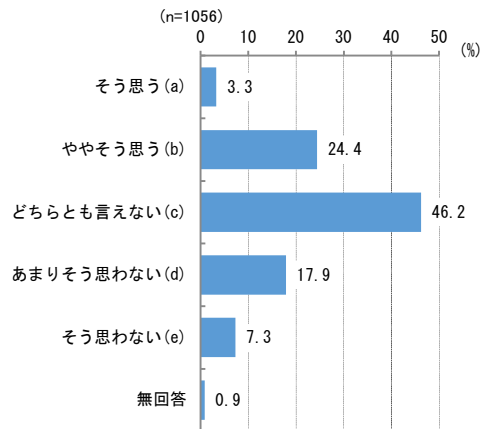
住宅

Q50. 日々の生活の中で、地域とのつながりや環境・景観に配慮されたすまいの工夫と知恵が大切にされている



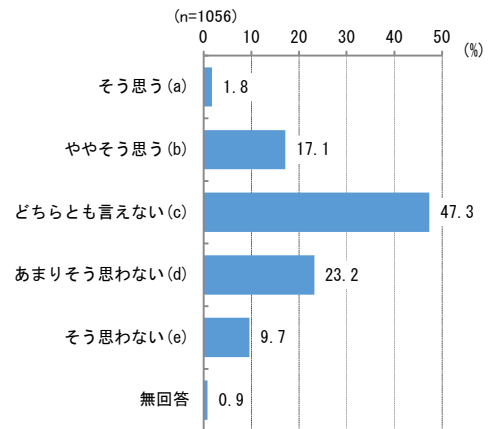
住宅

Q51. 適切にリフォーム・リノベーションされ、長く使える良質な中古住宅が増え、活用が進んでいる



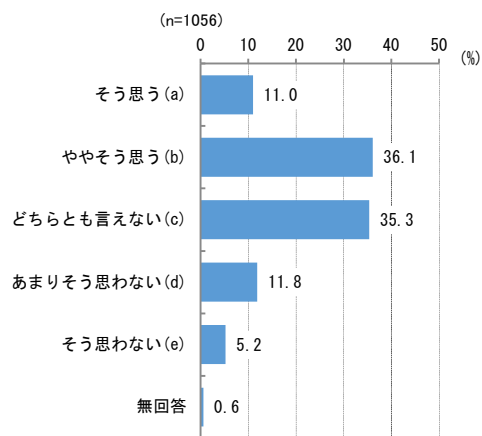
道と公園・緑

Q52. 災害時も安心・安全に通行できる道路網が整備されている



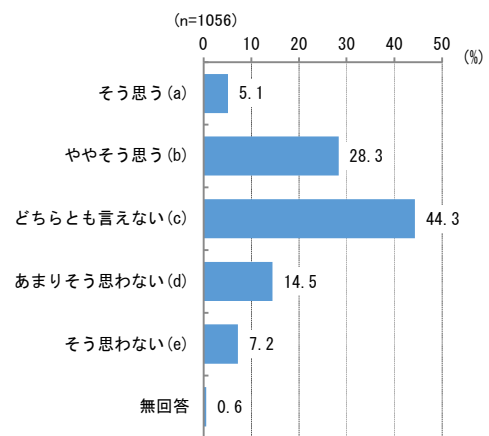
道と公園・緑

Q53. 四季を感じさせ、まちのにぎわいに華を添えるような街路樹や公園が身近にある



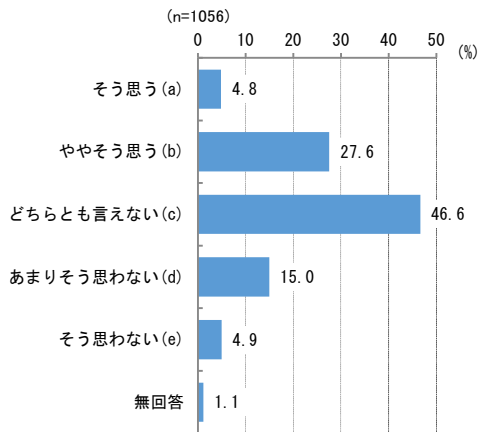
道と公園・緑

Q54. 市内の道路や橋が安心安全な状態で管理されている



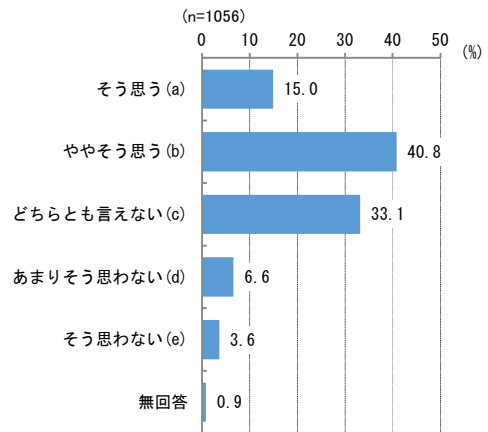
消防・救急

Q55. 文化財や京都らしい町並みを火災などから守る取組が市民ぐるみで行われている



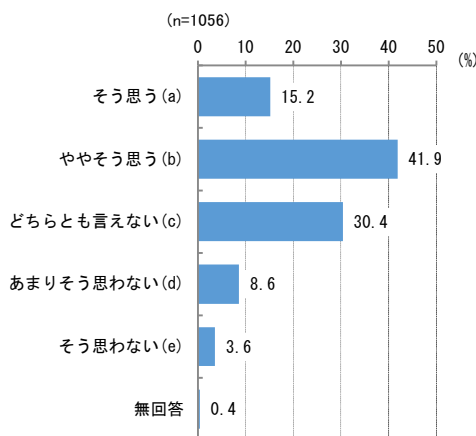
消防・救急

Q56. 消防署は、様々な災害や事故などが発生した際に頼りになる



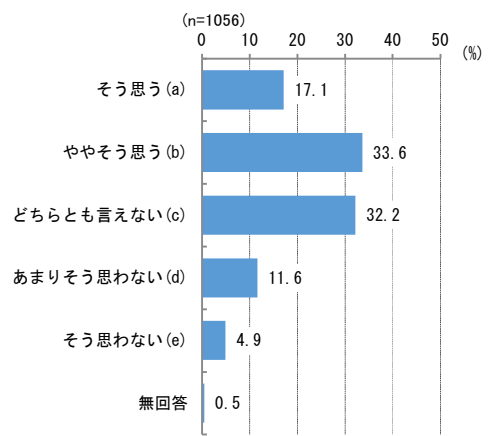
くらしの水

Q57. 上下水道は安全で安心していつでも利用できる



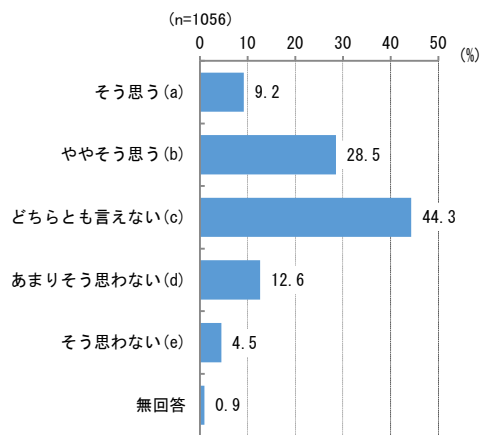
くらしの水

Q58. 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない



くらしの水

Q59. 上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる

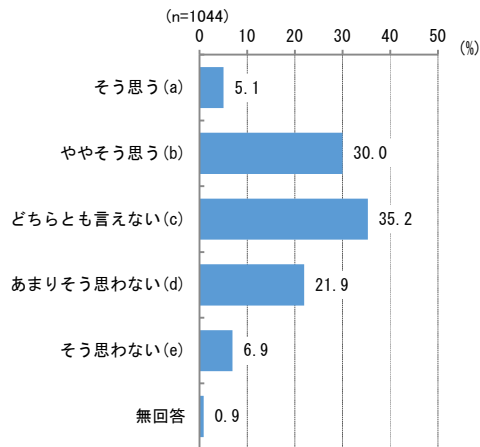


設問別集計グラフ

調査票B

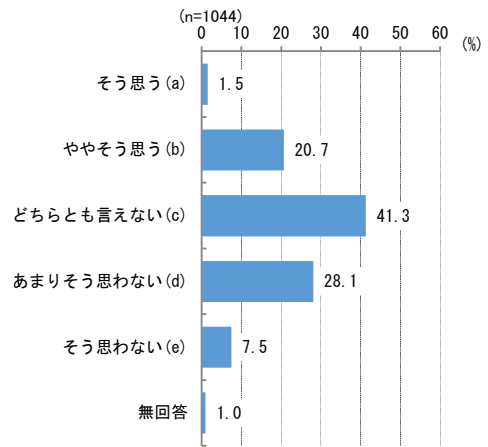
環境

Q1. 様々な生き物が生息する良好な自然環境が保たれている



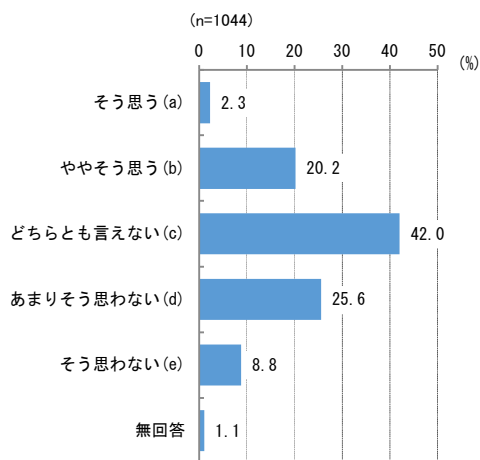
環境

Q2. 暮らしの中で、環境について学び、実践する人が世代を問わず増えてきている



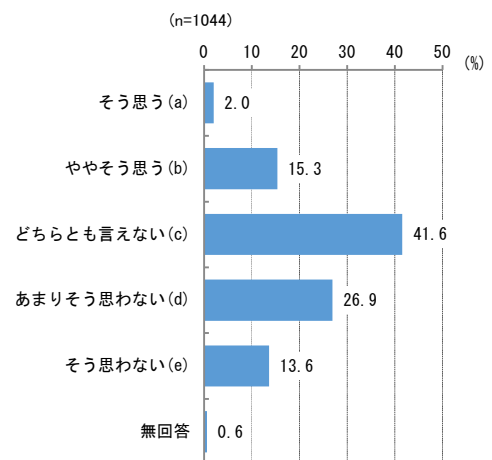
人権・男女共同参画

Q3. 様々な人に、いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や、自分に合った働き方を見つける機会がある



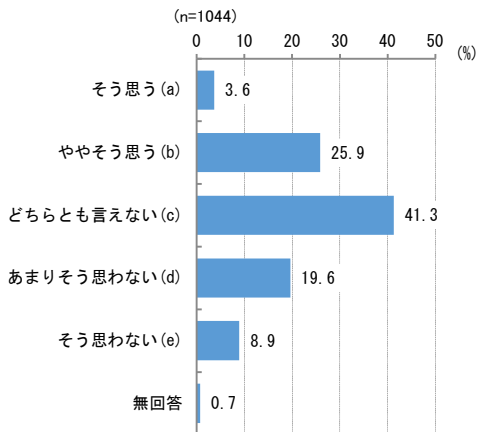
人権・男女共同参画

Q4. 男女間等における暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている



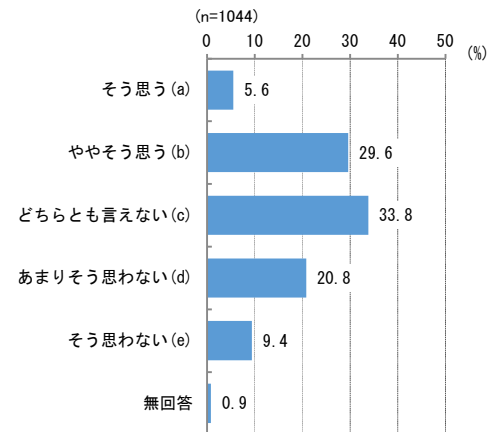
コミュニティ

Q6. 地域活動に、NPOやボランティア、大学、企業などの様々な団体が関わり、協力している



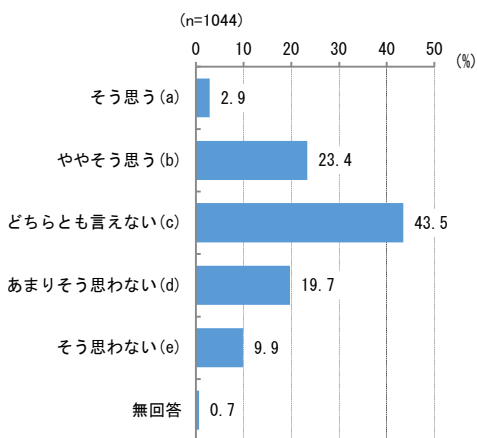
コミュニティ

Q60. 近所で日頃からあいさつが行われるなど、人と人がつながっている



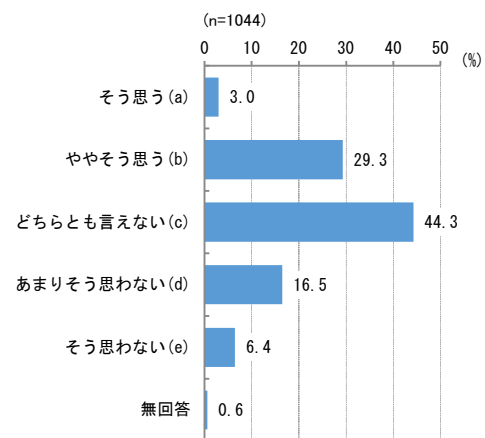
安全

Q7. 地域のつながり・交流が深まり、犯罪等の心配が少なく、安心して安全にくらせるまちとなっている



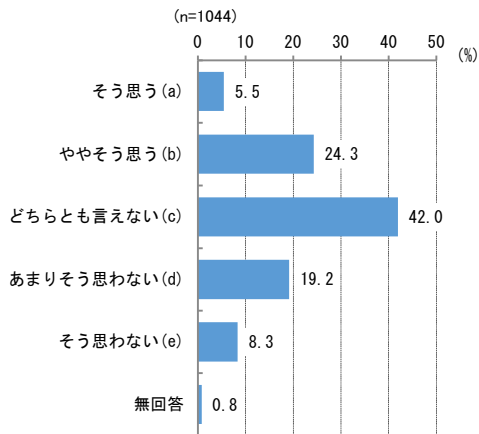
安全

Q8. 消費生活に関する情報や知識を備え、みずから考え行動する消費者が増えている



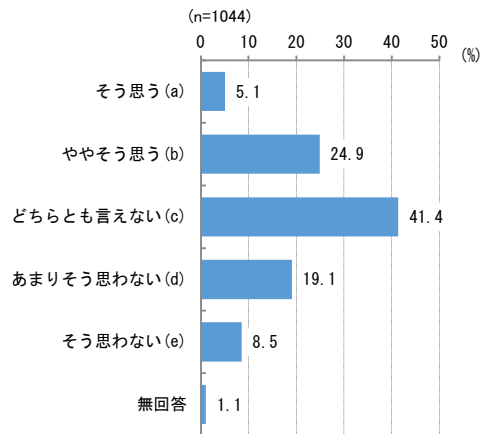
文化

Q9. 文化芸術活動によって、社会や経済が活気づいている



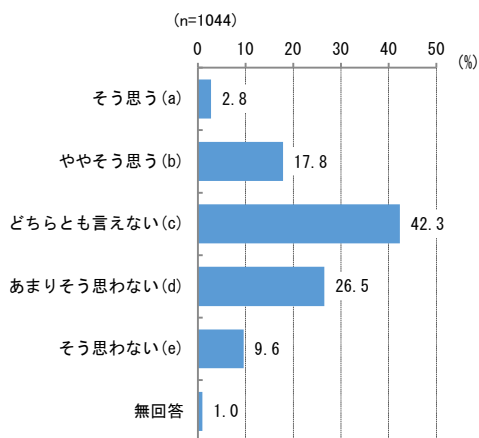
文化

Q10. 文化芸術に携わる人や応援する人が育ち、文化芸術活動が活発に行われている



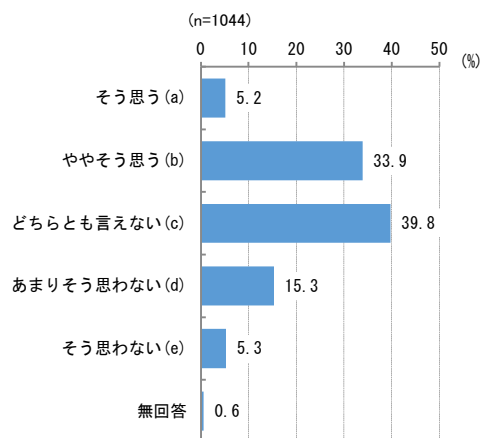
スポーツ

Q11. 市民がスポーツに身近に触れる機会があり、スポーツがまちの魅力を高めている



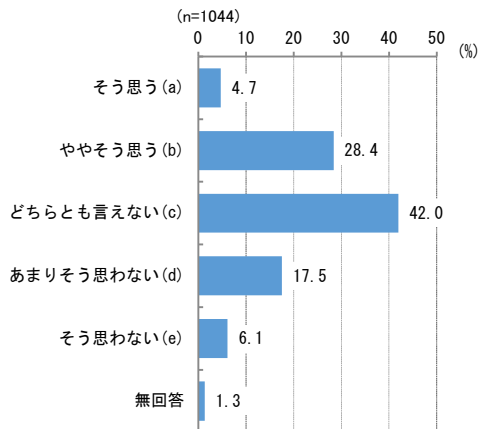
産業・商業

Q12. 多様な人々が京都でいきいきと働いている



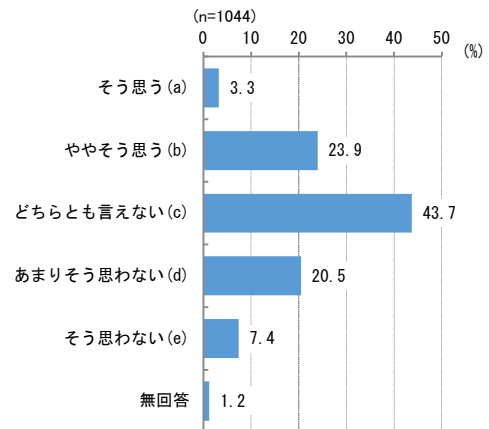
産業・商業

Q13. 国内外から起業家など様々な人が集まり、世界に羽ばたく企業が生まれている



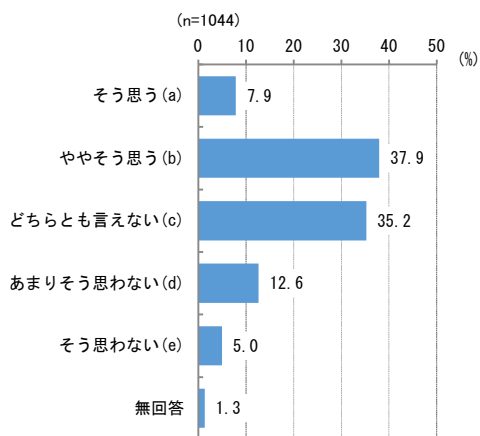
産業・商業

Q14. 現代のライフスタイルにも対応した伝統産業製品が生み出され、次世代を担う、つくり手が育ってきている



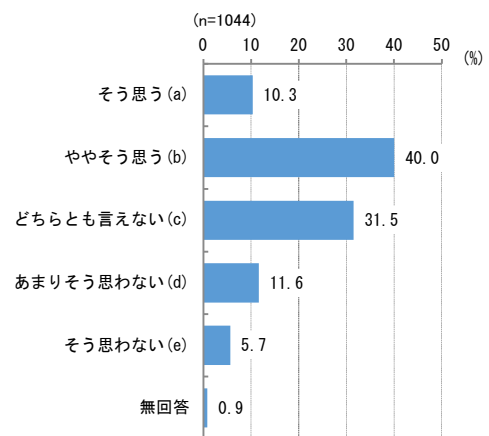
産業・商業

Q15. 京の食文化が受け継がれ、発展し続けている



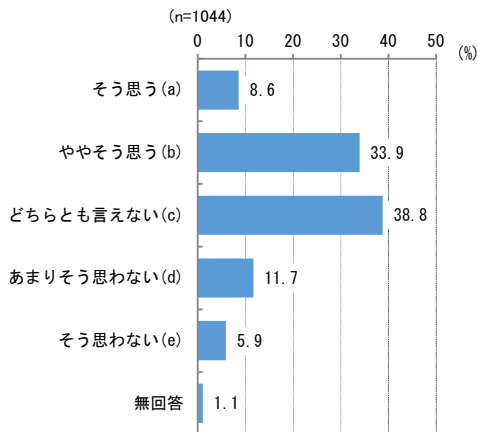
観光

Q16. 文化財や街並み、食、買い物等の多様な魅力が高まり、観光客が高い満足を感じている



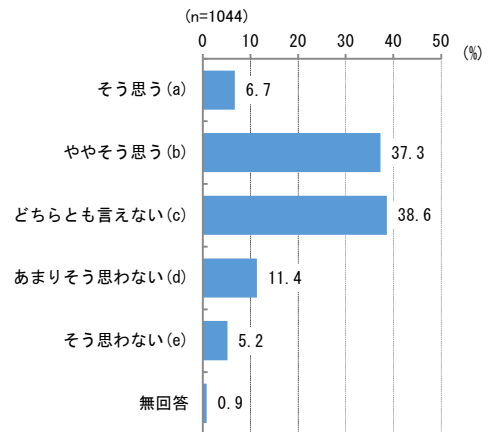
観光

Q17. 京都では、観光業に携わる人たちが、やりがいと誇りをもって活躍している



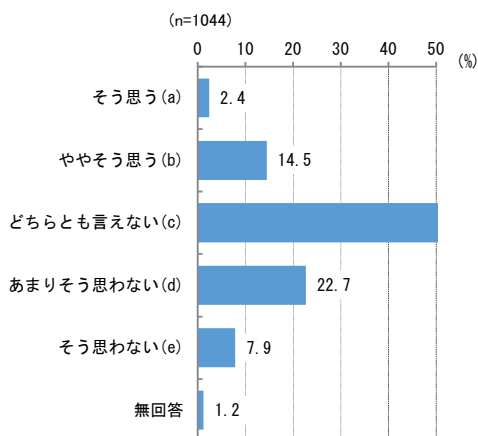
観光

Q18. 国際会議、イベント、企業ミーティングや研修旅行等が盛んに開かれ、世界中から多様な人々が集まっている



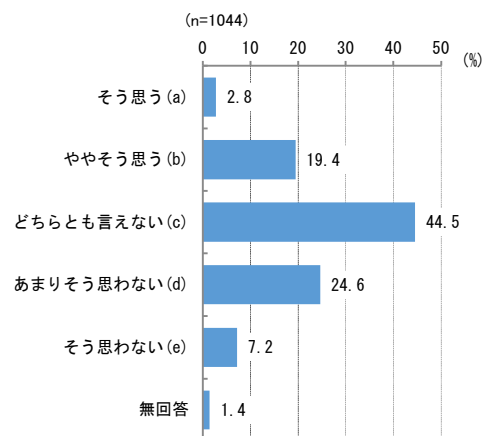
農林業

Q19. 災害や自然環境の変化、野生鳥獣などによる農林業被害への未然防止対策が進んでいる



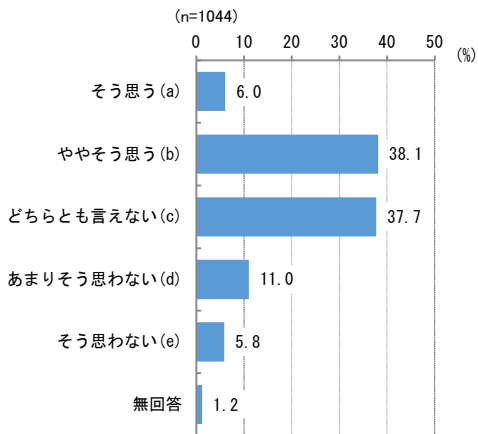
農林業

Q20. 農地や森林と身近に触れ合える機会が増え、自然が大切にされている



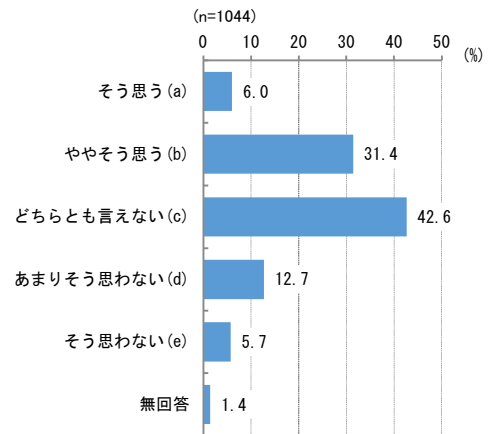
大学

Q21. 世界中から集まる留学生や研究者が京都で学び、国際社会で活躍する人材が育っている



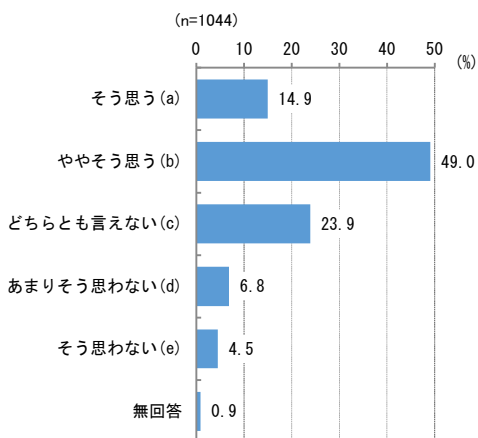
大学

Q22. 大学の人材や研究成果が市民や企業の成長に役立っている



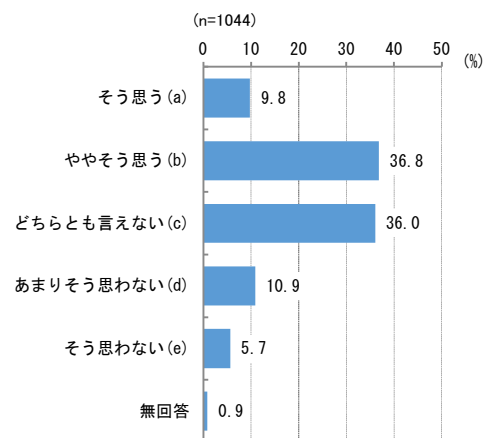
大学

Q23. 「大学のまち」「学生のまち」として国内外から様々な学生が集まっている



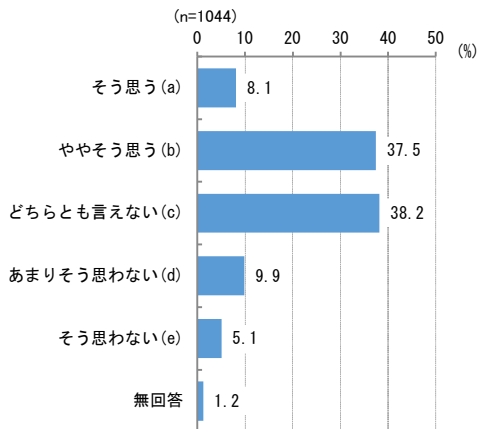
国際

Q24. 京都には、世界から留学、ビジネス等を目的として訪れる人々を引き寄せる魅力がある



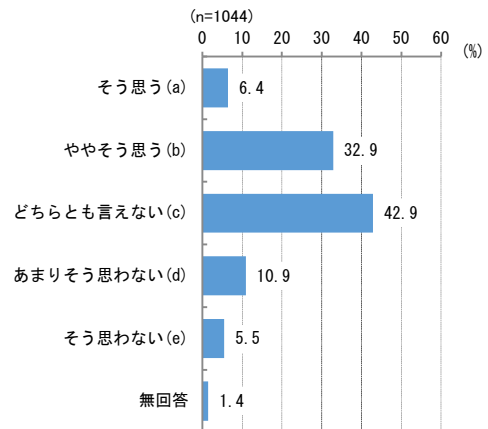
国際

Q25. 京都は、海外の都市と文化のみならず経済・芸術など様々な分野で活発に交流し、国際社会にも貢献している



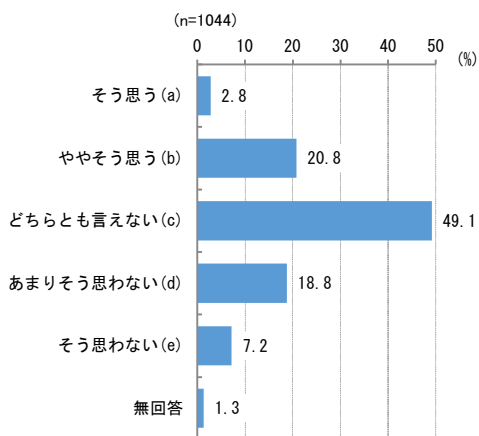
国際

Q61. 国内外からの多様な人々との交流により、新たな価値や学びに出会えている



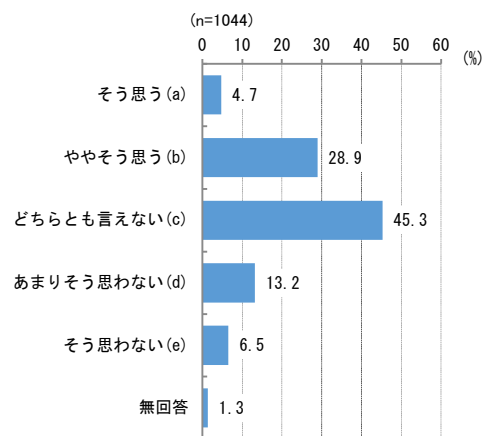
子ども・若者

Q26. 子どもが尊重され、希望を持って健やかにたくましく育っている



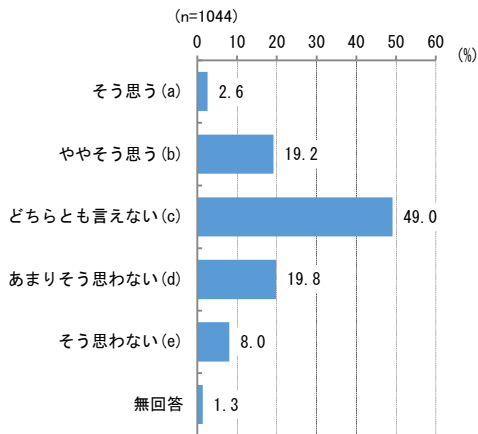
子ども・若者

Q27. 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる



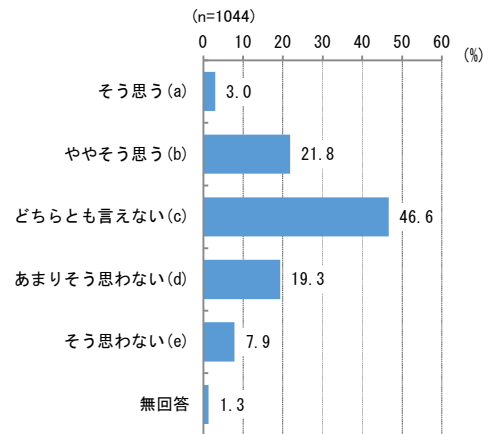
障害者福祉

Q28. 障害のある人の就労や社会参加が進んできている



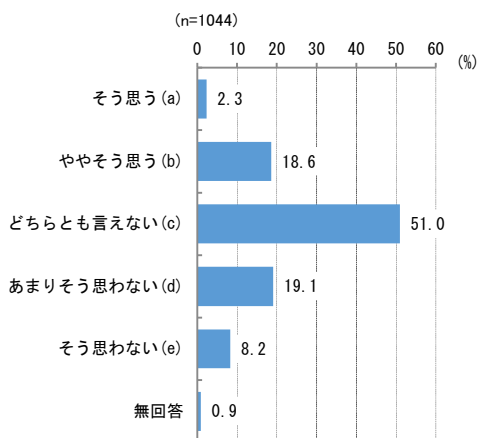
障害者福祉

Q29. バリアフリーの建物や、誰もが使いやすいデザインの製品が普及し、くらしやすくなってきている



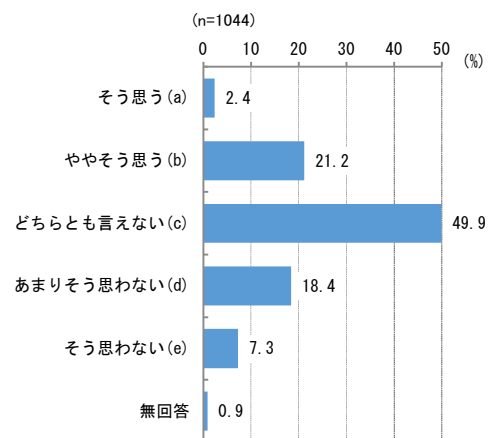
地域福祉

Q30. 地域の住民が互いにそれぞれの多様性を認め合い、支え合うことで、安心して過ごせる地域になっている



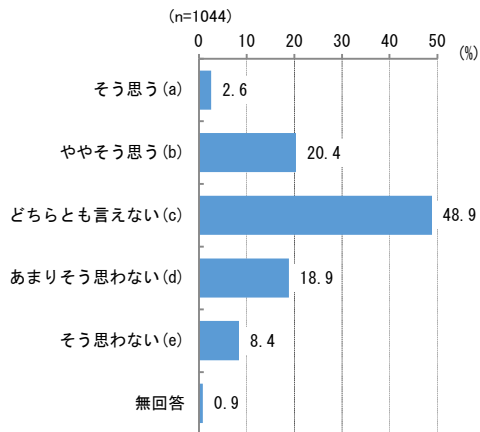
健康長寿

Q31. 市民が体やこころの健康づくりに主体的に取り組んでいる



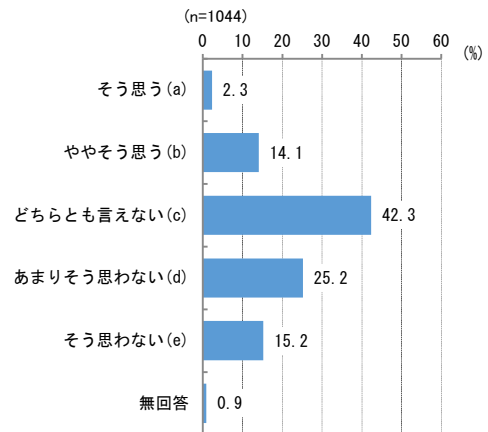
健康長寿

Q32. 高齢者が支援や介護が必要になっても住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができる



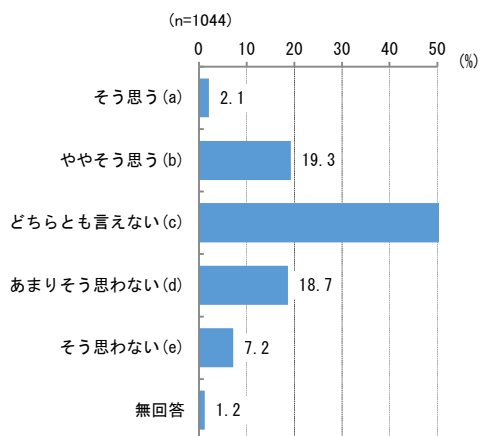
保健衛生・医療

Q33. 違法民泊が根絶され、安全で安心な生活環境になっている



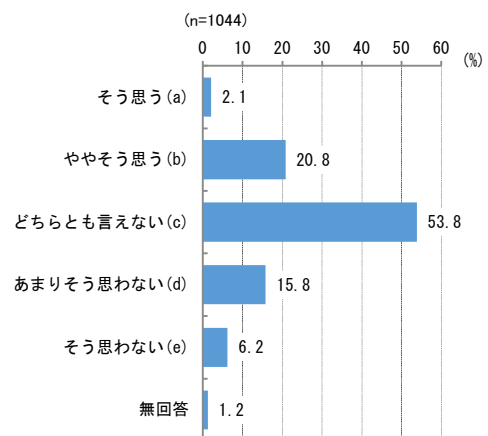
保健衛生・医療

Q34. 動物を思いやり、動物との正しい関わりを考えることなどにより、人と動物が共にくらすことができる



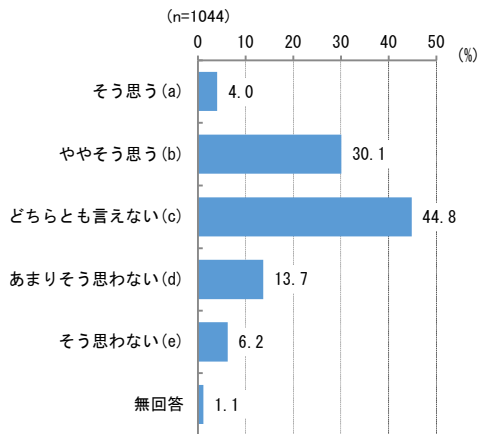
学校教育

Q35. 保護者や地域の人々が学校の様々な活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる



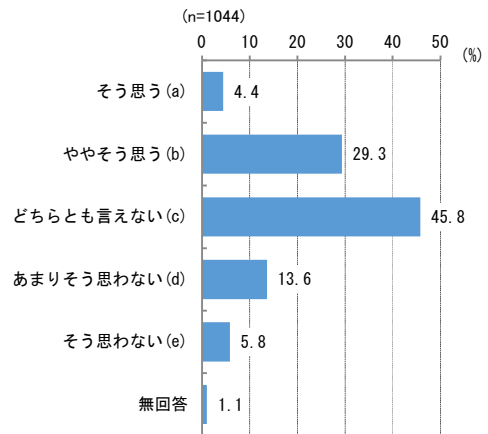
学校教育

Q36. 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、持続可能な社会を担える人材の育成に役立っている



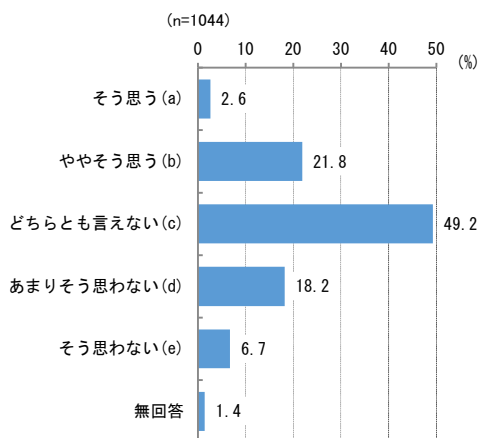
生涯学習

Q37. 図書館をはじめ多様な機関が学びの機会を豊富に提供し、市民が様々な場で学んでいる



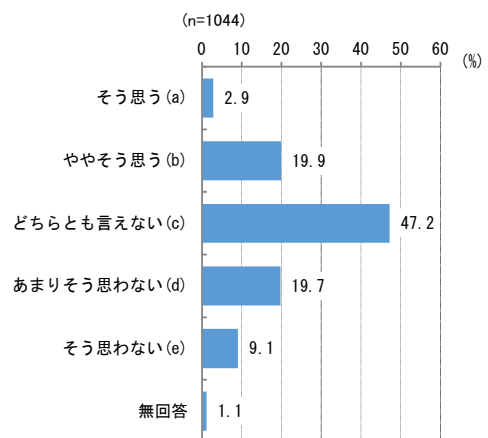
生涯学習

Q38. 子どもたちが社会の宝として市民ぐるみ・地域ぐるみで育まれている



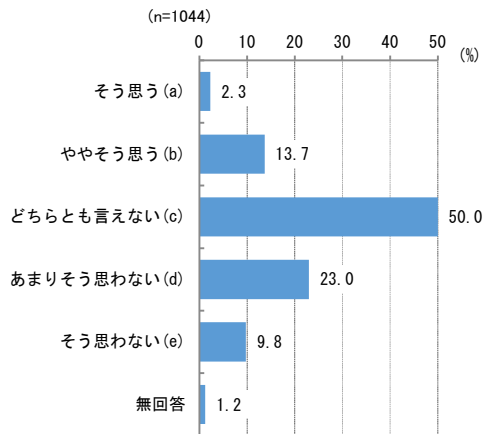
危機管理・防犯・減災

Q39. 自治会・町内会や行政等がしっかり連携し、災害などが発生した際にしなやかに強く対応できている



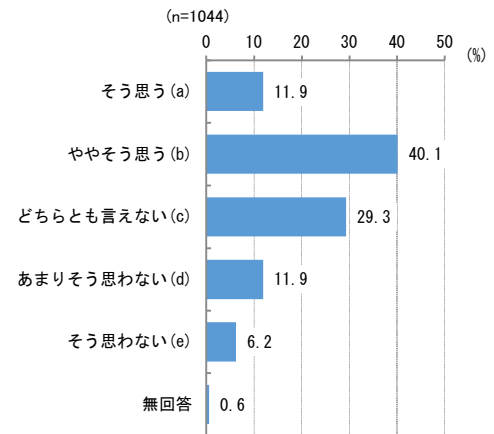
危機管理・防犯・減災

Q40. 災害時に市民や観光客などが的確に避難行動などを起こすことができる



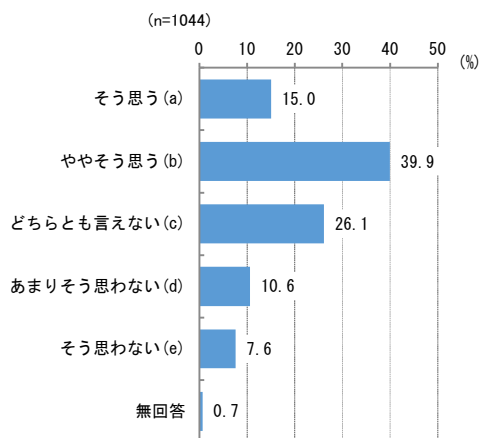
歩くまち

Q41. 京都のまちを出歩くことは楽しく、健康にもよい



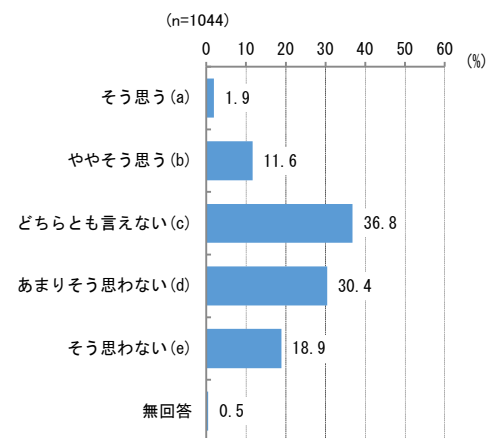
歩くまち

Q42. 市バス・地下鉄は、市民生活に役立っている



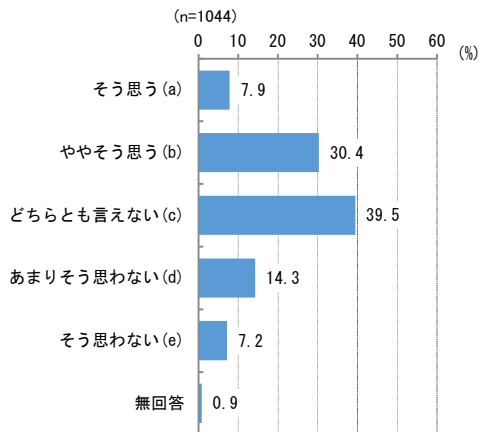
歩くまち

Q43. 自転車がルールやマナーを守って安心・安全で快適に利用されている



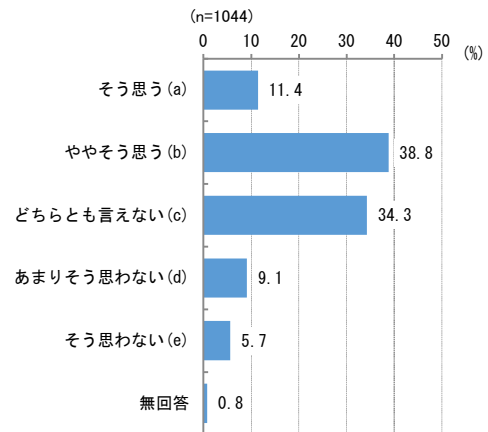
土地・空間利用と都市機能配置

Q44. 徒歩や公共交通で移動できる範囲に生活に必要な施設や働く場があり、様々な世代が暮らしやすい



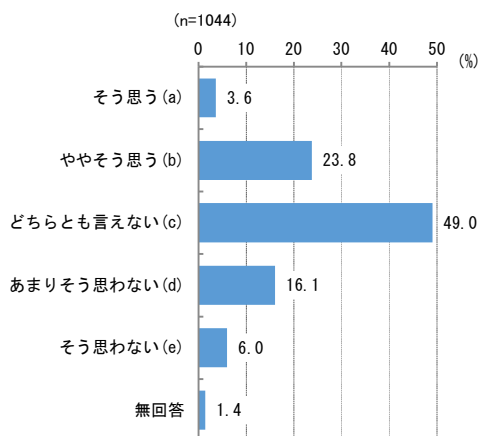
土地・空間利用と都市機能配置

Q45. 京都市中心部や京都駅周辺、二条・丹波口・梅小路周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である



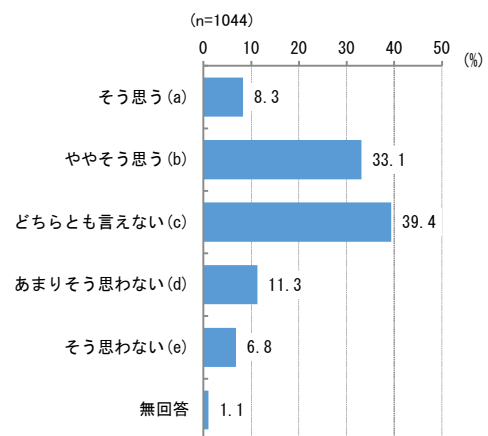
土地・空間利用と都市機能配置

Q46. 身近な地域で、町並み保全やにぎわいづくりなどの自主的なまちづくり活動が進んでいる



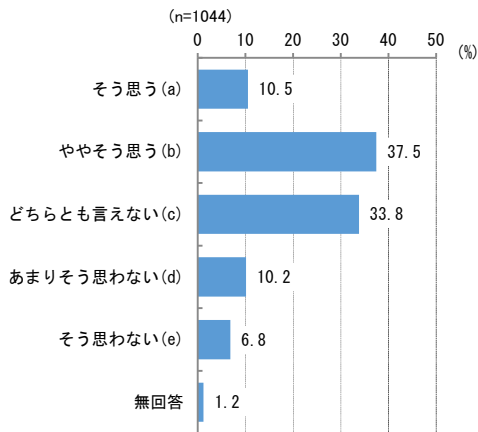
景観

Q47. 市街地が周囲の山並みと調和した品格ある景観となっている



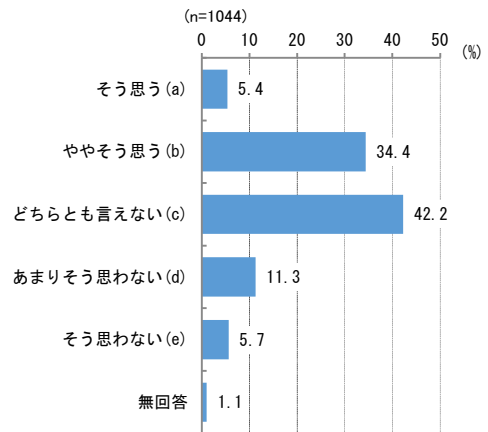
景観

Q48. 京町家など京都独特の風情ある町並み景観が守られている



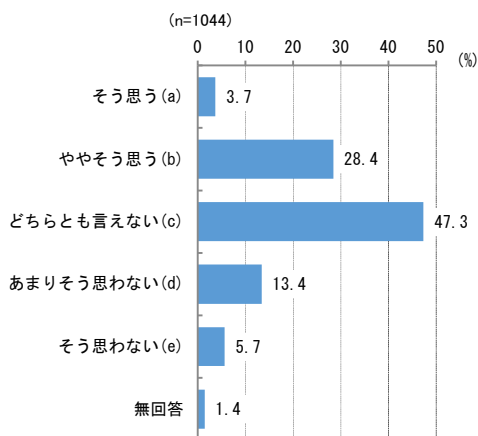
建築物

Q49. 新しく建てられた建築物は、バリアフリーや環境に配慮されている



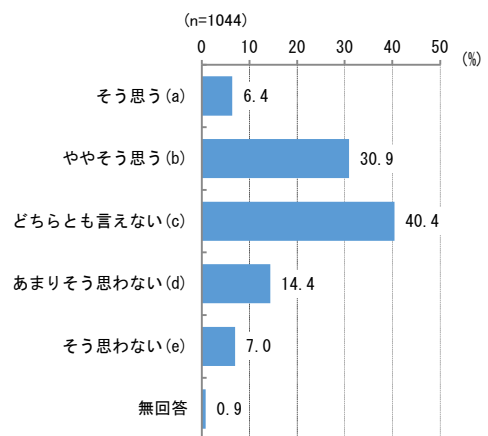
建築物

Q50. 建築物が健全で安全な状態で活用されている



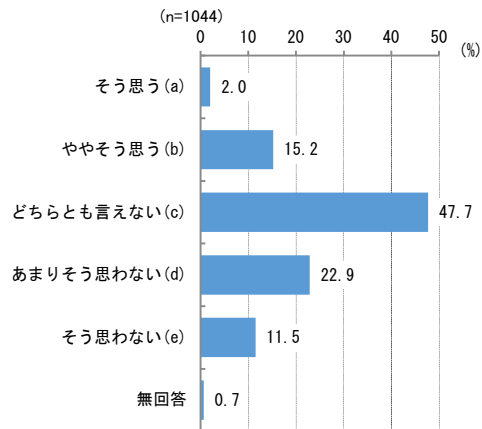
住宅

Q51. 幅広い世代の人々が安心・安全で快適に暮らし、京都に住み続けたいと思っている



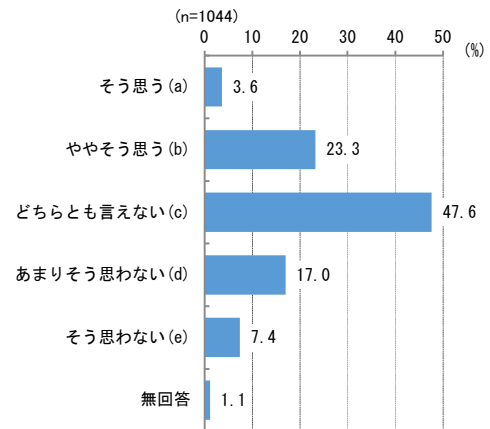
住宅

Q52. 高齢者向け住宅など、様々なニーズに応じた住宅の選択肢が広がり、すまいに困っている人が少ない



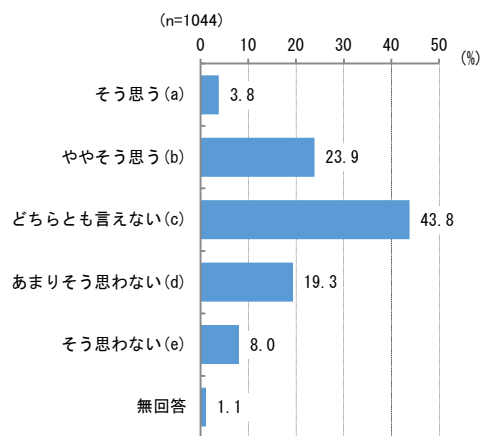
道と公園・緑

Q53. 公園が、快適な都市環境の創出・向上のほか、地域活動や健康づくりなど、様々な用途で活用されている



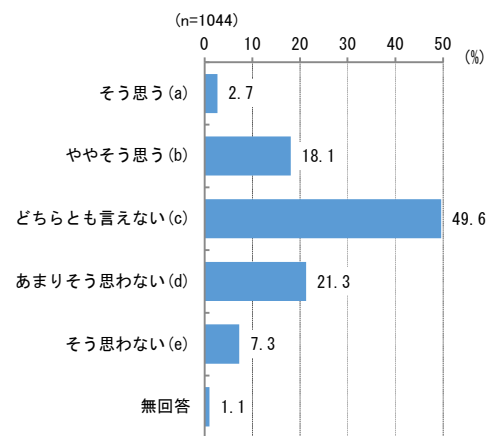
道と公園・緑

Q54. 道路や公園などがバランスよく整備され、安心・安全で魅力と活気にあふれた市街地が増えている



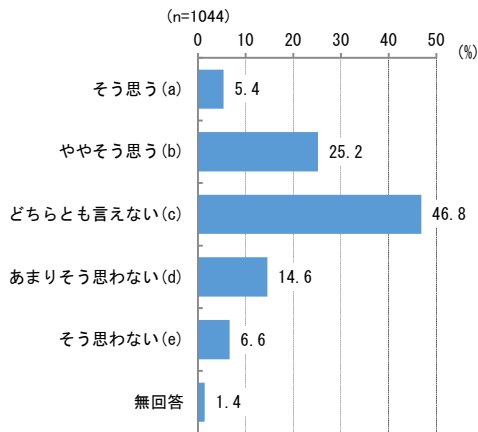
消防・救急

Q55. 防火の取組が市民ぐるみで進み、火災の心配が少ないまちになっている



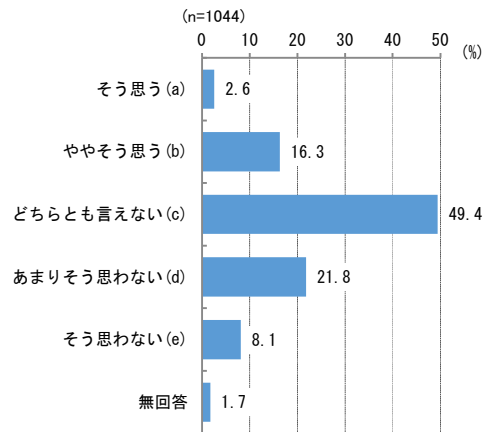
消防・救急

Q56. 急な病気や怪我の際の相談体制や救急隊の搬送体制が十分に整っている



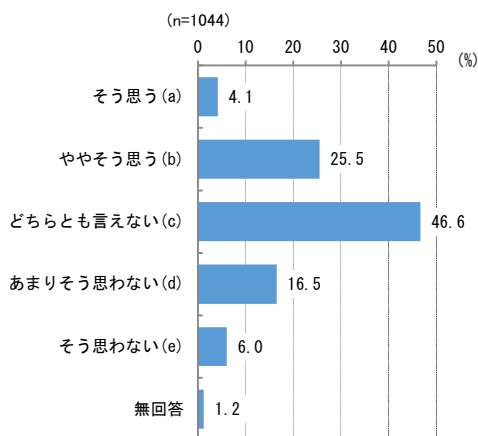
消防・救急

Q57. 災害が起こっても被害を抑えられるよう、地域ぐるみでの備えが進んでいる



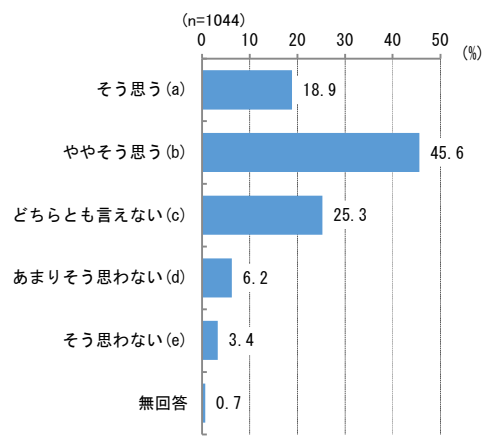
くらしの水

Q58. 水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている



くらしの水

Q59. 上下水道は便利で市民の役に立っている

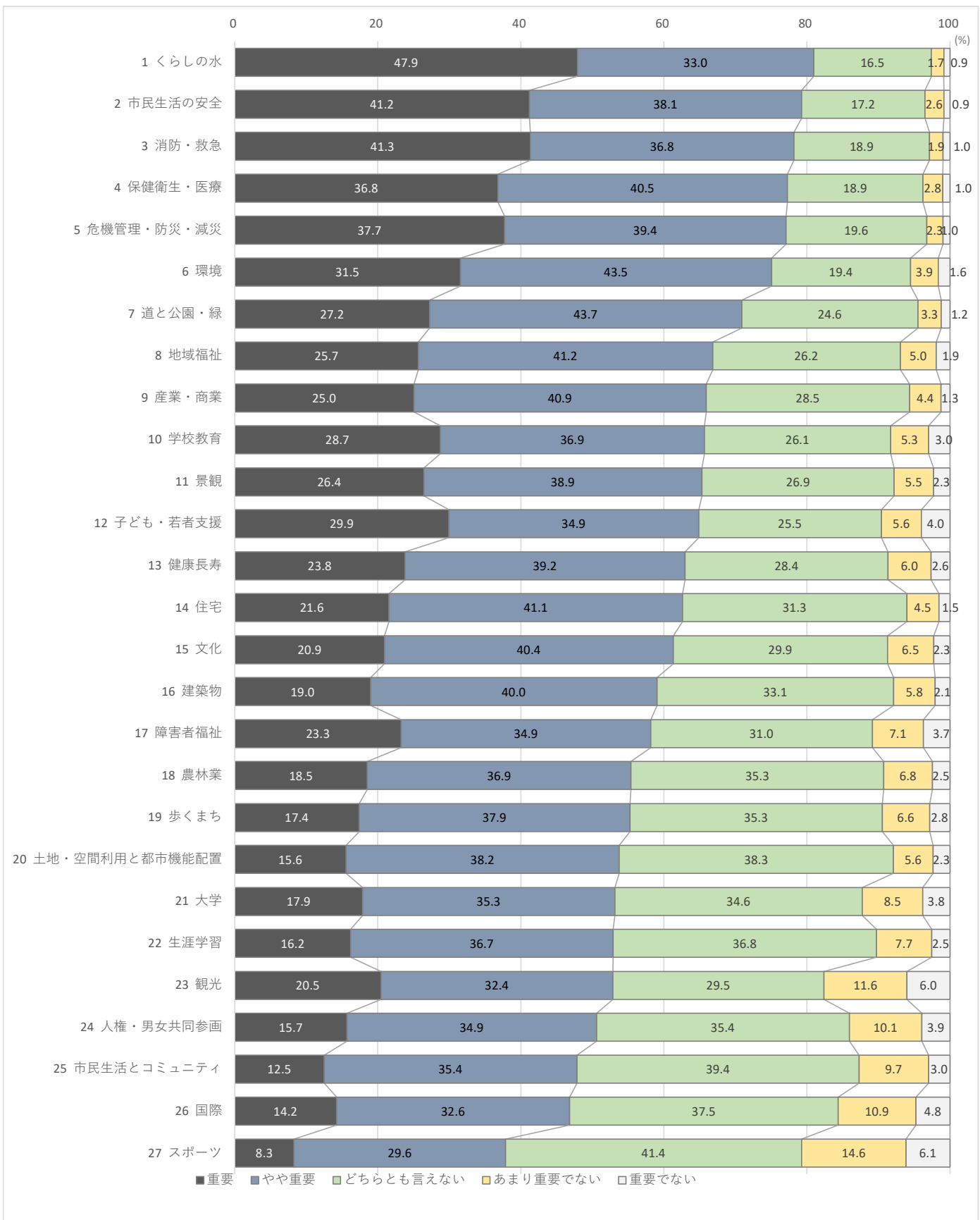


政策の重要度（政策における市民の重要度）

京都市が取り組んでいるそれぞれの政策について、現在のあなたにとってどれだけ重要か、当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。

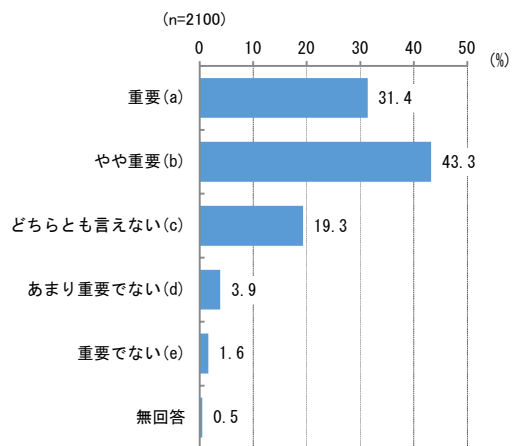
政策分野	人数	%
1 環境	1568	75.1
2 人権・男女共同参画	1054	50.6
3 市民生活とコミュニティ	999	47.9
4 市民生活の安全	1651	79.3
5 文化	1278	61.3
6 スポーツ	791	37.9
7 産業・商業	1371	65.9
8 観光	1101	52.9
9 農林業	1151	55.4
10 大学	1107	53.2
11 国際	974	46.8
12 子ども・若者支援	1354	64.9
13 障害者福祉	1213	58.2
14 地域福祉	1396	66.8
15 健康長寿	1315	63.0
16 保健衛生・医療	1616	77.3
17 学校教育	1371	65.7
18 生涯学習	1104	52.9
19 危機管理・防災・減災	1613	77.1
20 歩くまち	1151	55.3
21 土地・空間利用と都市機能配置	1122	53.8
22 景観	1364	65.3
23 建築物	1231	59.0
24 住宅	1307	62.6
25 道と公園・緑	1479	70.9
26 消防・救急	1634	78.2
27 くらしの水	1688	81.0

【別表2】政策の重要度

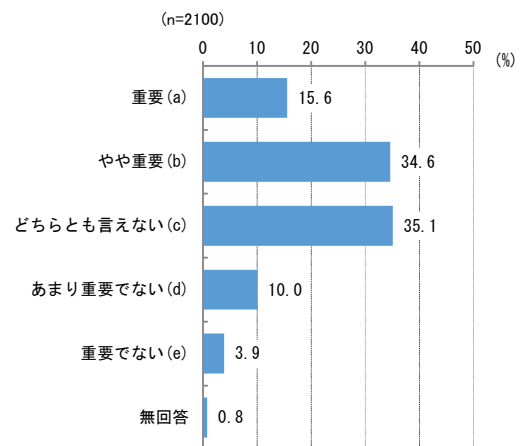


政策の重要度(27政策における市民の重要度)グラフ

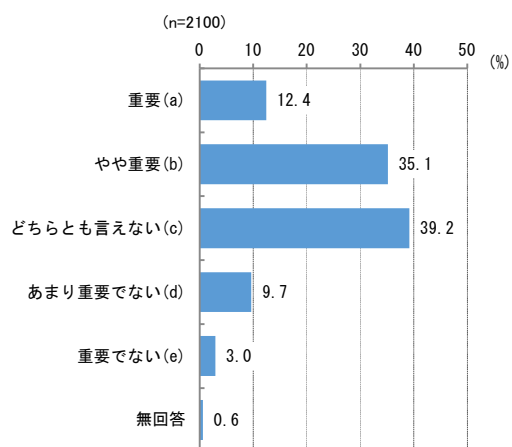
1 環境



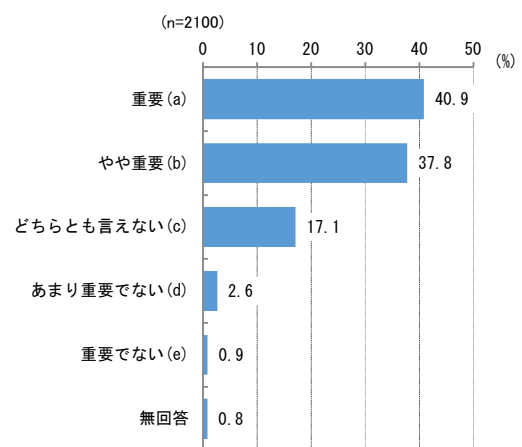
2 人権・男女共同参画



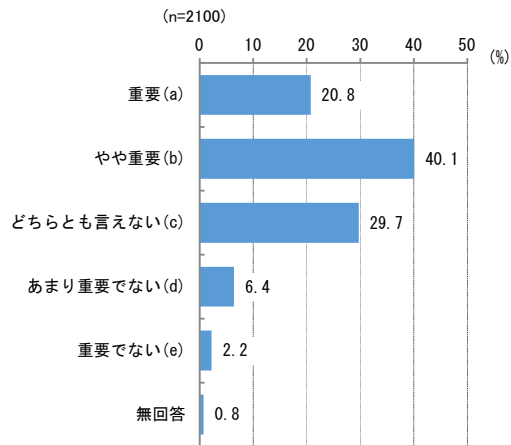
3 市民生活とコミュニティ



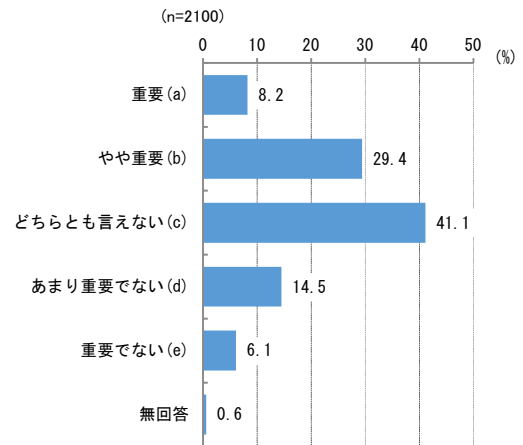
4 市民生活の安全



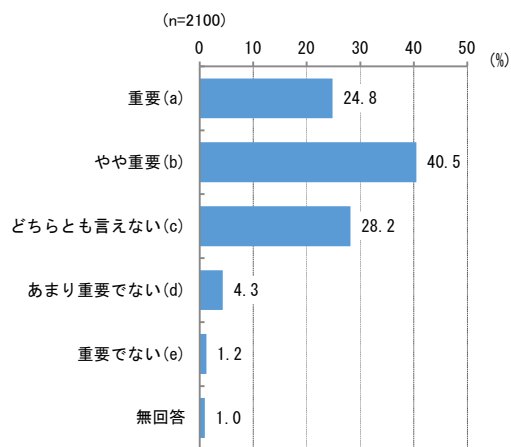
5 文化



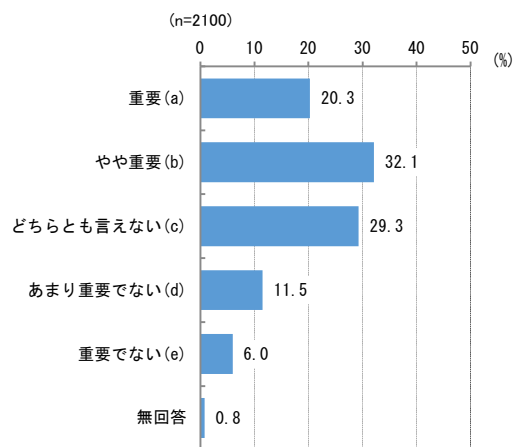
6 スポーツ



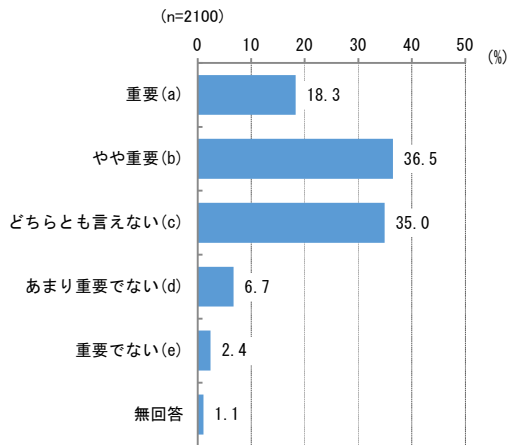
7 産業・商業



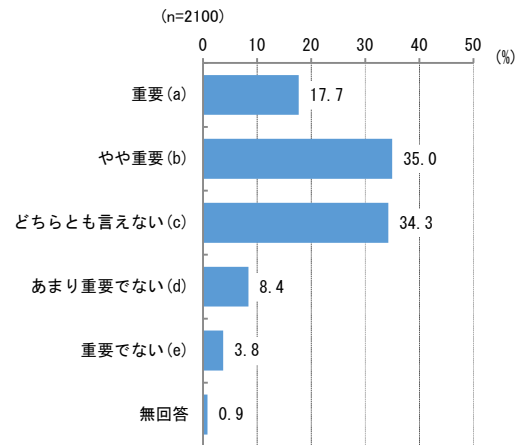
8 観光



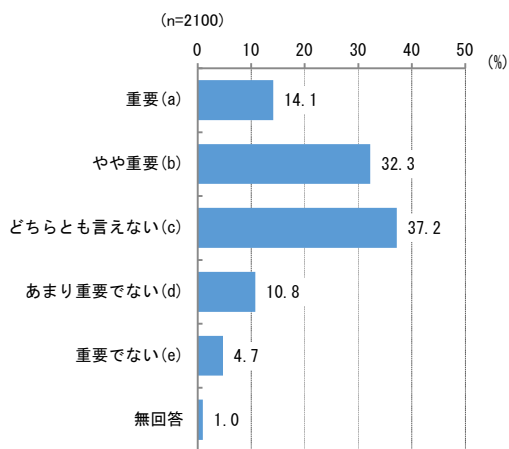
9 農林業



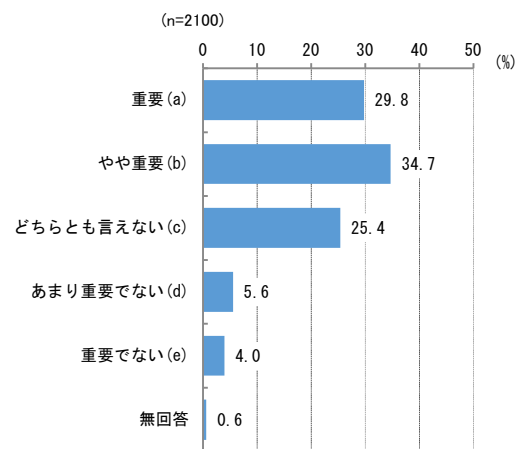
10 大学



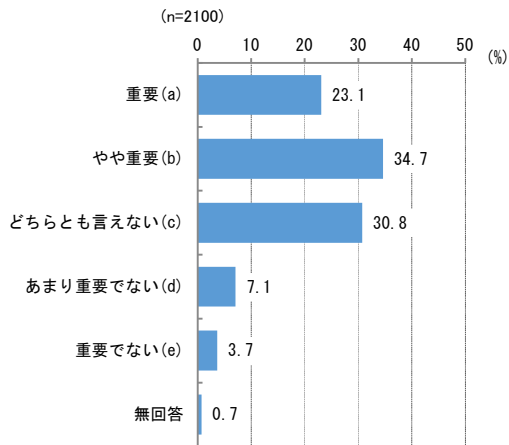
11 国際



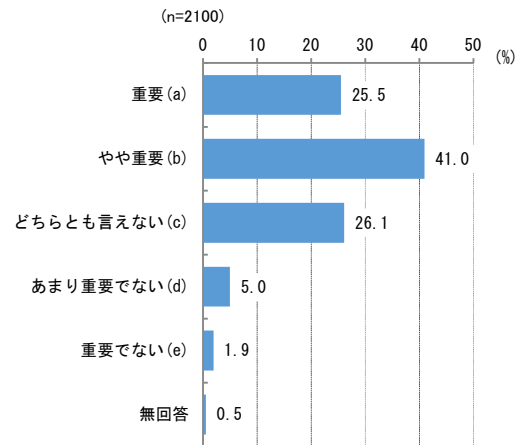
12 子ども・若者支援



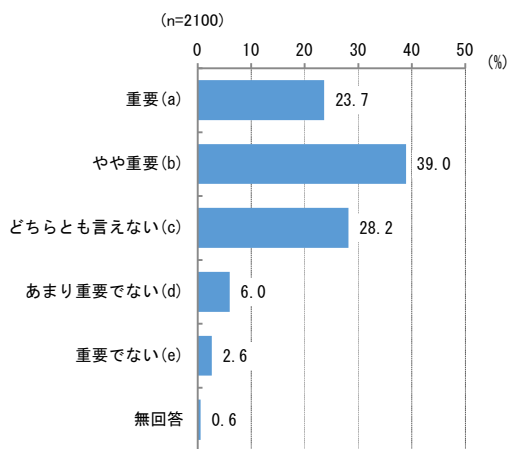
13 障害者福祉



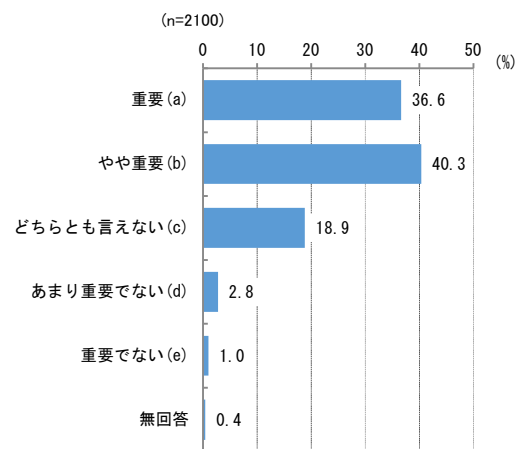
14 地域福祉



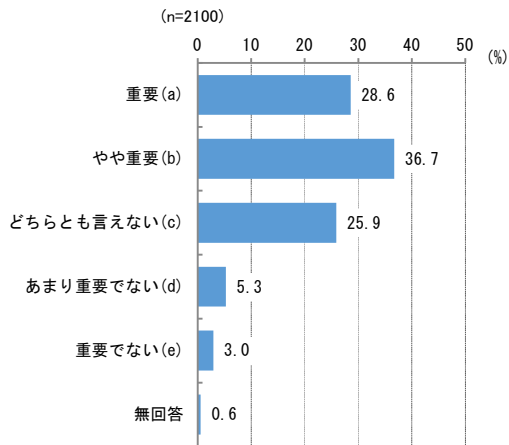
15 健康長寿



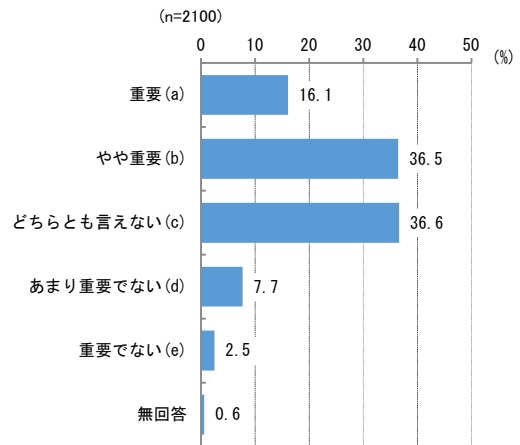
16 保健衛生・医療



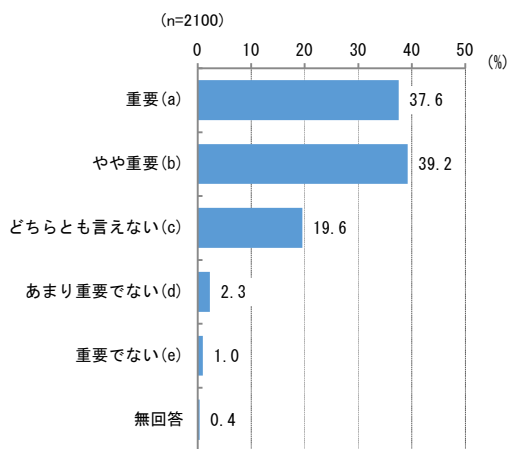
17 学校教育



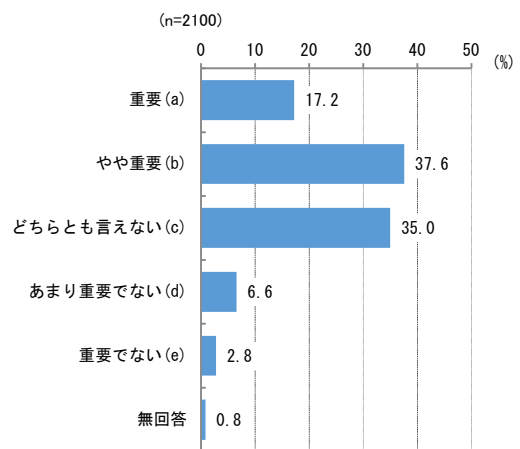
18 生涯学習



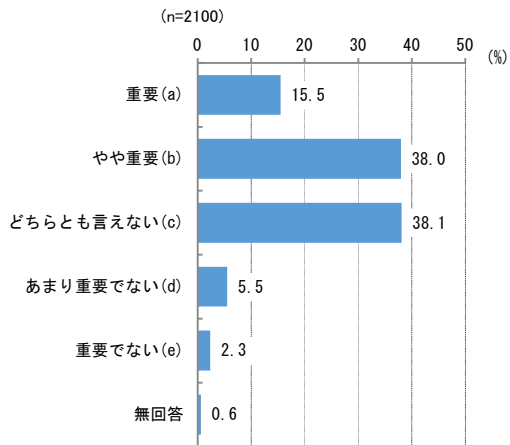
19 危機管理・防災・減災



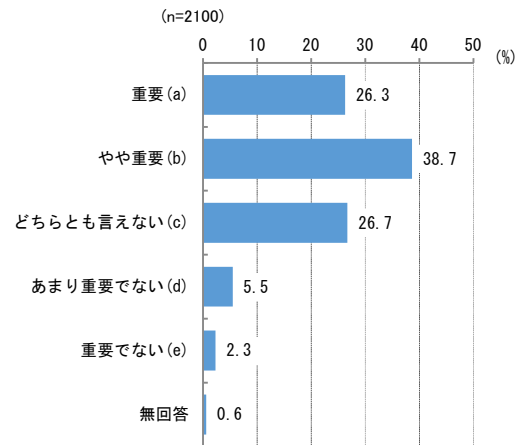
20 歩くまち



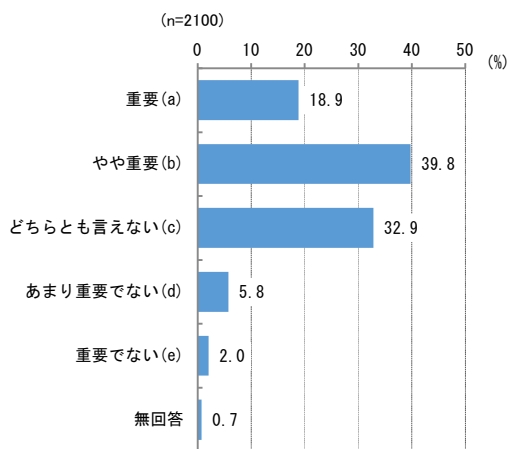
21 土地・空間利用と都市機能配置



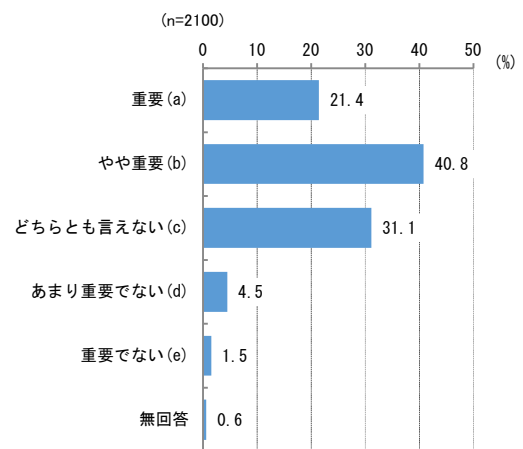
22 景観



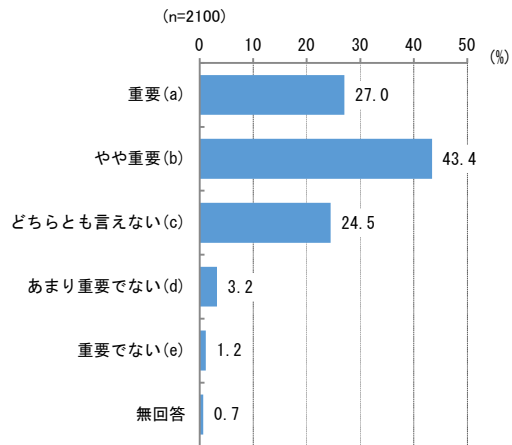
23 建築物



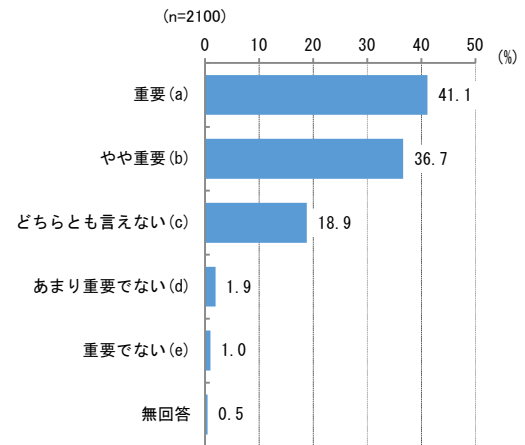
24 住宅



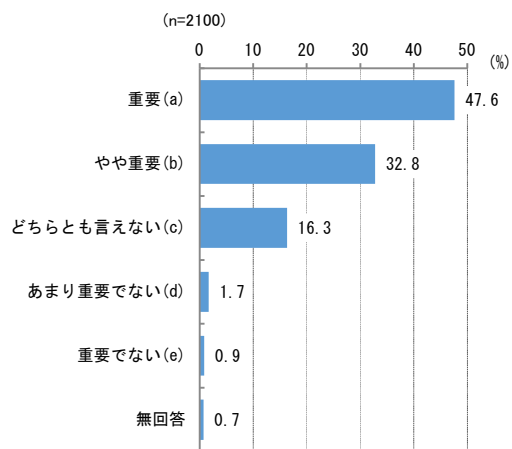
25 道と公園・緑



26 消防・救急



27 暮らしの水



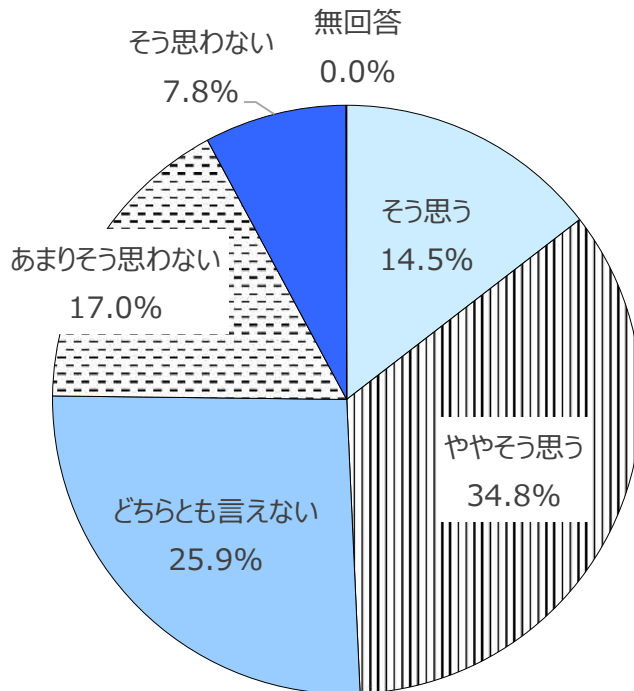
市政関心度

あなたの実感として、当てはまるもの1つ選んで○を付けてください。
「1 自分は京都市政に関心がある。」

回答者数(人) 2100

市政関心度	人数	%
そう思う	305	14.5%
ややそう思う	730	34.8%
どちらとも言えない	544	25.9%
あまりそう思わない	356	17.0%
そう思わない	164	7.8%
無回答	1	0.0%
合計	2100	100.0%

市政関心度 グラフ



幸福実感

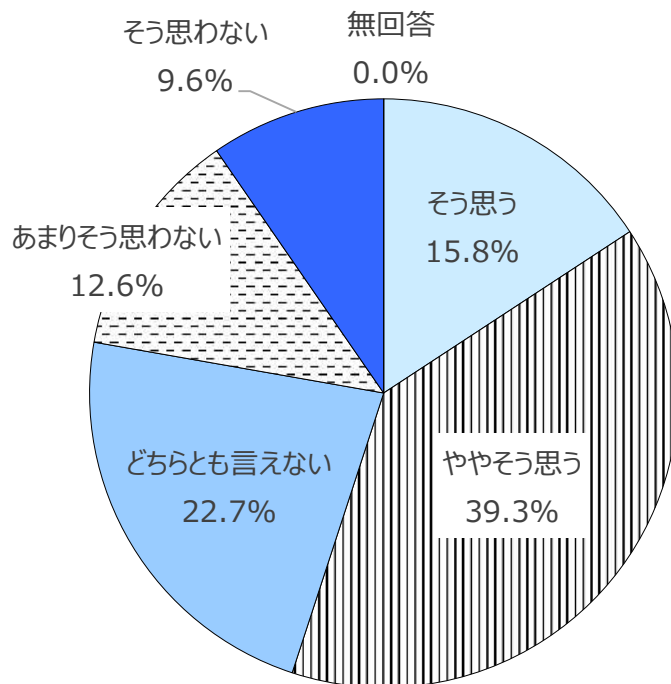
あなたの実感として、当てはまるもの1つ選んで○を付けてください。
「2 自分は今、幸せだと思う。」

回答者数(人)

2100

幸福実感	人数	%
そう思う	331	15.8%
ややそう思う	825	39.3%
どちらとも言えない	477	22.7%
あまりそう思わない	265	12.6%
そう思わない	202	9.6%
無回答	0	0.0%
合計	2100	100.0%

幸福実感 グラフ



【参考】自由記述意見一覧表 ※様式自由

(別紙11)

回答者no.	①性別	②年齢	③職業	④居住区	⑤京都市での居住年数	自由記述欄
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

政策重要度と市民生活実感のマトリックス

市民生活実感調査において以下の方法により調査した、「政策重要度」と「市民生活実感」の関係を図示しています。

- 政策重要度**
 27の政策分野について、それぞれ重要度を5段階で選び、選択肢のうち、「重要」または「やや重要」を選択した人の有効回答者数に占める割合（%）
- 市民生活実感**
 市民生活実感調査の結果を点数化し、政策ごとに平均化した数値

【点数化の方法】

各回答について、「そう思う」に2点、「ややそう思う」に1点、「どちらとも言えない」に0点、「あまりそう思わない」に-1点、「そう思わない」に-2点を乗じ、それらの合計を有効回答数で除する。

(例)

そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	総回答数	有効回答数
37	93	81	28	20	23	282	259

$$\frac{37 \times 2 + 93 \times 1 + 81 \times 0 + 28 \times (-1) + 20 \times (-2)}{259} = 0.382$$

政策重要度：回答数÷有効回答数 生活実感：政策ごとの生活実感の平均値

